

令和7年度 第2回
さいたま市インターネット市民意識調査
【調査報告書】

令和7年9月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

インターネット市民意識調査 【調査報告書】

目次

1	調査企画とサンプル構成	1
2	調査結果	3
	SC1. 居住地	4
	【SNSについて】	5
	Q1. さいたま市の情報の入手経路（複数回答）	5
	Q2. 求めていた情報が手に入ったか	6
	Q3. 市のSNSに改善して欲しいこと（複数回答）	7
	【市議会の広報について】	8
	Q4. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいるか	8
	Q4. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいるか（経年比較）	9
	Q5. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を読んでいない理由（複数回答）	10
	Q6. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」で特に見たい、または充実させてほしい情報（複数回答）	11
	Q7. テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがあるか	12
	Q7. テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがあるか（経年比較）	13
	Q8. 「ようこそさいたま市議会へ」で特に見たい、または充実させてほしい情報（複数回答）	14
	【区役所における窓口サービスについて】	15
	Q9. 1年以内に区役所等を利用した用件（複数回答）	15
	Q10. 区役所の利用時間	16
	Q11. 区役所や支所・市民の窓口を利用したいか	17
	Q12. 区役所が開いていると便利だと思う時間帯（複数回答）	18
	Q13. 休日窓口の利用経験	20
	Q13. 休日窓口の利用経験（経年比較）	21
	【さいたまキッズなCity 大会宣言について】	22
	Q14. 子どもの有無（複数回答）	22
	Q15. さいたま市が、社会全体で子どもの成長を支えあっている市であると感じるか	24
	Q15. さいたま市が、社会全体で子どもの成長を支えあっている市であると感じるか（経年比較）	25
	Q16. 「さいたまキッズなCity 大会宣言」や子どもの権利を普及・啓発するにあたって、情報が目に留まりやすい場所（複数回答）	26
	【家庭での災害時の備えについて】	27
	Q17. 災害に対して日ごろから行っている備え（複数回答）	27
	Q18. 地震の備えとして行っている対策（複数回答）	28
	Q19. 地震の備えとして行っている工夫（複数回答）	29
	Q20. 地震の備えとして対策を行う上で、妨げとなるもの（複数回答）	30
3	調査票（アンケート画面）	31

1 調査企画とサンプル構成

1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

1-2 調査地域

さいたま市

1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、各年齢層の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回答数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西区	8	4	8	5	2	27	7	7	4	5	3	26	53
北区	11	18	4	11	9	53	14	9	12	12	8	55	108
大宮区	11	13	16	10	7	57	18	6	10	12	11	57	114
見沼区	14	9	12	6	15	56	9	13	13	11	6	52	108
中央区	8	7	16	8	13	52	10	6	4	7	8	35	87
桜区	12	10	6	10	2	40	5	6	9	9	11	40	80
浦和区	7	13	10	12	21	63	14	15	18	11	15	73	136
南区	14	13	16	22	20	85	14	20	16	19	13	82	167
緑区	8	5	6	9	6	34	6	14	9	8	16	53	87
岩槻区	7	8	6	7	5	33	3	4	5	6	9	27	60
合計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1,000

1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

1-6 実施時期

令和7年8月1日（金）～8月15日（金）

1-7 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

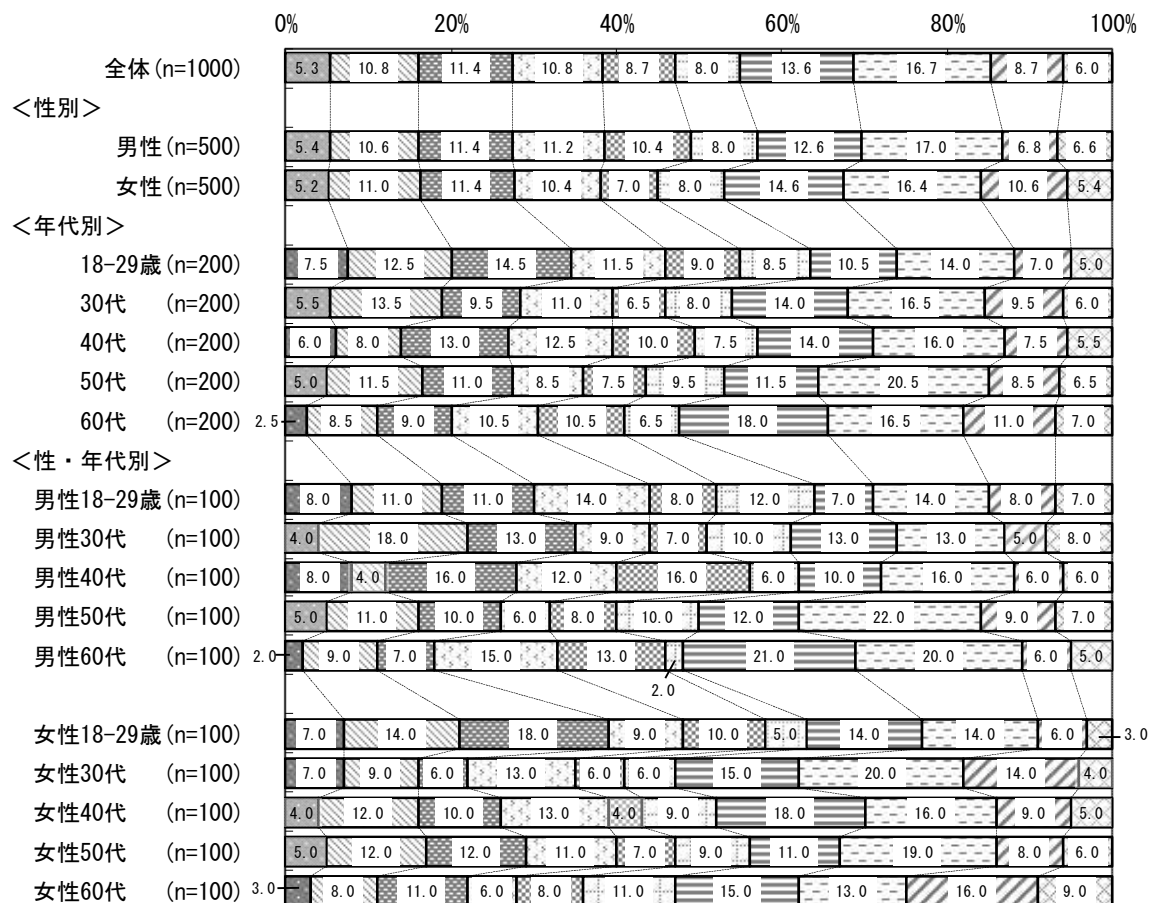
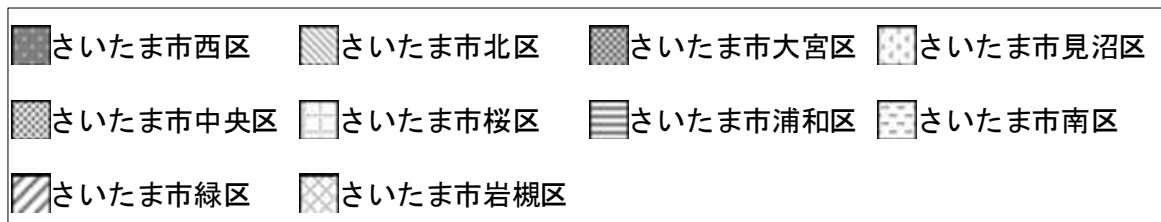
1-8 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超える。
- (2) 図表中の調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。
- (3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。
- (4) 【全体結果】及び【比較結果】における調査結果の比率は、図表中の調査結果の少数第1位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

2 調査結果

SC1. 居住地

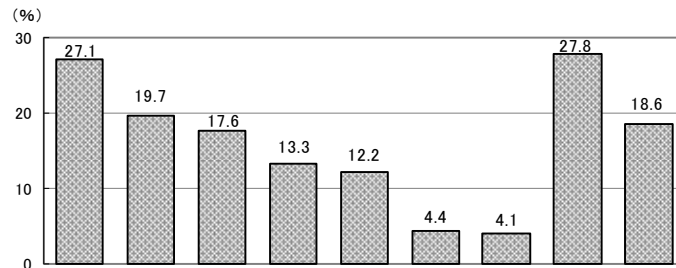
あなたのお住まいをお答えください。



【SNSについて】

Q1. さいたま市の情報の入手経路（複数回答）

あなたが、さいたま市の情報を得るために使用するSNS等は何ですか。
以下の中から、あてはまるものすべてを選んでください。



		LINE	さいたま市みんなのアプリ	X (旧Twitter)	YouTube	Instagram	Facebook	その他	さいたま市の情報を得るためにSNS	さいたま市の情報を得ていない
全体(n=1000)		27.1	19.7	17.6	13.3	12.2	4.4	4.1	27.8	18.6
性別	男性(n=500)	24.4	21.2	18.2	15.8	9.6	5.4	3.4	29.0	18.0
	女性(n=500)	29.8	18.2	17.0	10.8	14.8	3.4	4.8	26.6	19.2
年代別	18-29歳(n=200)	32.0	13.5	29.5	20.5	21.5	3.5	2.0	18.0	30.0
	30代 (n=200)	31.0	17.5	21.0	12.0	10.5	3.5	4.5	23.0	18.5
	40代 (n=200)	32.0	14.5	19.5	18.0	16.0	6.5	4.5	22.5	16.5
	50代 (n=200)	19.5	22.5	8.5	8.0	7.0	4.0	4.5	36.5	17.5
	60代 (n=200)	21.0	30.5	9.5	8.0	6.0	4.5	5.0	39.0	10.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	34.0	14.0	35.0	27.0	20.0	6.0	1.0	14.0	30.0
	男性30代 (n=100)	28.0	18.0	22.0	17.0	9.0	5.0	4.0	23.0	20.0
	男性40代 (n=100)	21.0	17.0	20.0	14.0	7.0	6.0	4.0	23.0	19.0
	男性50代 (n=100)	21.0	24.0	6.0	11.0	7.0	4.0	4.0	42.0	12.0
	男性60代 (n=100)	18.0	33.0	8.0	10.0	5.0	6.0	4.0	43.0	9.0
	女性18-29歳(n=100)	30.0	13.0	24.0	14.0	23.0	1.0	3.0	22.0	30.0
	女性30代 (n=100)	34.0	17.0	20.0	7.0	12.0	2.0	5.0	23.0	17.0
	女性40代 (n=100)	43.0	12.0	19.0	22.0	25.0	7.0	5.0	22.0	14.0
	女性50代 (n=100)	18.0	21.0	11.0	5.0	7.0	4.0	5.0	31.0	23.0
	女性60代 (n=100)	24.0	28.0	11.0	6.0	7.0	3.0	6.0	35.0	12.0

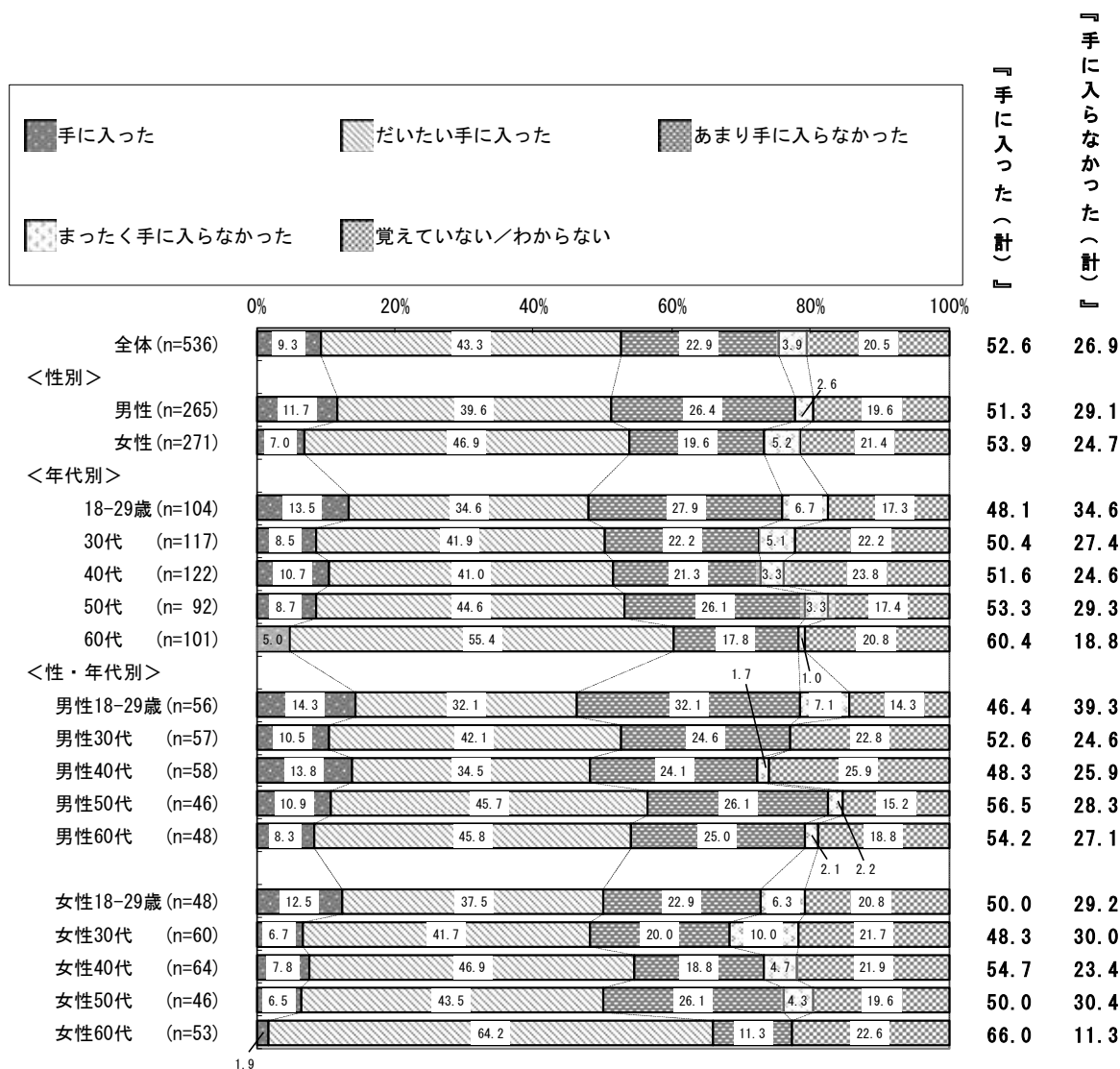
【全体結果】「LINE」が27%で最も高く、「さいたま市みんなのアプリ」(20%)、「X(旧Twitter)」(18%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「YouTube」は、男性(16%)が女性(11%)よりも5ポイント高かった。一方、「LINE」、「Instagram」は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。
- ◎年代別で見ると、「さいたま市みんなのアプリ」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で31%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「YouTube」は、男性では年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で27%となった。一方、「LINE」は、女性40代(43%)のみ4割を超えた。

(Q1で、「さいたま市の情報を得るためにSNSは利用していない」、「さいたま市の情報を得ていない」以外を回答した人が対象)

Q2. 求めている情報が手に入ったか

あなたは、SNS等のさいたま市公式アカウントを利用して、あなたが求めている情報が手に入りましたか。以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



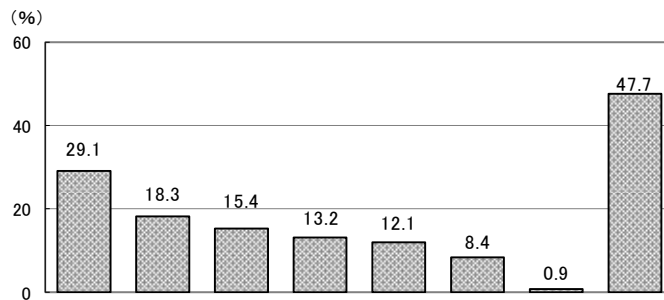
【全体結果】さいたま市の情報を SNS 等から入手している人(536 人)に、求めている情報が手に入ったか聞いたところ、「手に入った」(9%)と「だいたい手に入った」(43%)を合わせた『手に入った (計)』は、53%であった。

また、「あまり手に入らなかった」(23%)と「まったく手に入らなかった」(4%)を合わせた『手に入らなかった (計)』は、27%であった。

◎年代別で見ると、『手に入った (計)』は、年代が上がるにつれ高くなり、60 代で 60%となった。

Q3. 市のSNSに改善して欲しいこと（複数回答）

あなたが、市のSNSに改善して欲しいことがらは何ですか。
以下の中から、あてはまるものすべてを選んでください。



		最新の情報がすぐに分かるようにする	文章を短く簡潔にする	タイトルを見やすくする	画像を活用する	自分に合う情報だけを取得できるようにする	動画を活用する	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)		29.1	18.3	15.4	13.2	12.1	8.4	0.9	47.7
性別	男性(n=500)	25.0	18.2	17.4	12.8	11.6	10.2	1.2	47.2
	女性(n=500)	33.2	18.4	13.4	13.6	12.6	6.6	0.6	48.2
年代別	18-29歳(n=200)	24.0	19.0	18.0	13.0	8.5	12.5	0.5	52.0
	30代 (n=200)	32.0	20.5	17.0	17.0	15.5	11.0	1.0	41.0
	40代 (n=200)	30.0	21.5	15.5	16.0	15.5	4.0	0.5	42.5
	50代 (n=200)	28.0	15.0	14.0	10.0	10.5	8.5	2.0	50.5
	60代 (n=200)	31.5	15.5	12.5	10.0	10.5	6.0	0.5	52.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	24.0	20.0	19.0	12.0	9.0	19.0	1.0	47.0
	男性30代 (n=100)	29.0	15.0	19.0	14.0	15.0	13.0	1.0	38.0
	男性40代 (n=100)	20.0	24.0	17.0	17.0	14.0	4.0	1.0	45.0
	男性50代 (n=100)	22.0	14.0	15.0	11.0	10.0	9.0	3.0	52.0
	男性60代 (n=100)	30.0	18.0	17.0	10.0	10.0	6.0	0.0	54.0
	女性18-29歳(n=100)	24.0	18.0	17.0	14.0	8.0	6.0	0.0	57.0
	女性30代 (n=100)	35.0	26.0	15.0	20.0	16.0	9.0	1.0	44.0
	女性40代 (n=100)	40.0	19.0	14.0	15.0	17.0	4.0	0.0	40.0
	女性50代 (n=100)	34.0	16.0	13.0	9.0	11.0	8.0	1.0	49.0
	女性60代 (n=100)	33.0	13.0	8.0	10.0	11.0	6.0	1.0	51.0

【全体結果】「最新の情報がすぐに分かるようにする」が29%で最も高く、「文章を短く簡潔にする」(18%)、「タイトルを見やすくする」(15%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「最新の情報がすぐに分かるようにする」は、女性(33%)が男性(25%)よりも8ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「タイトルを見やすくする」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で18%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「最新の情報がすぐに分かるようにする」は、女性40代のみ4割であった。

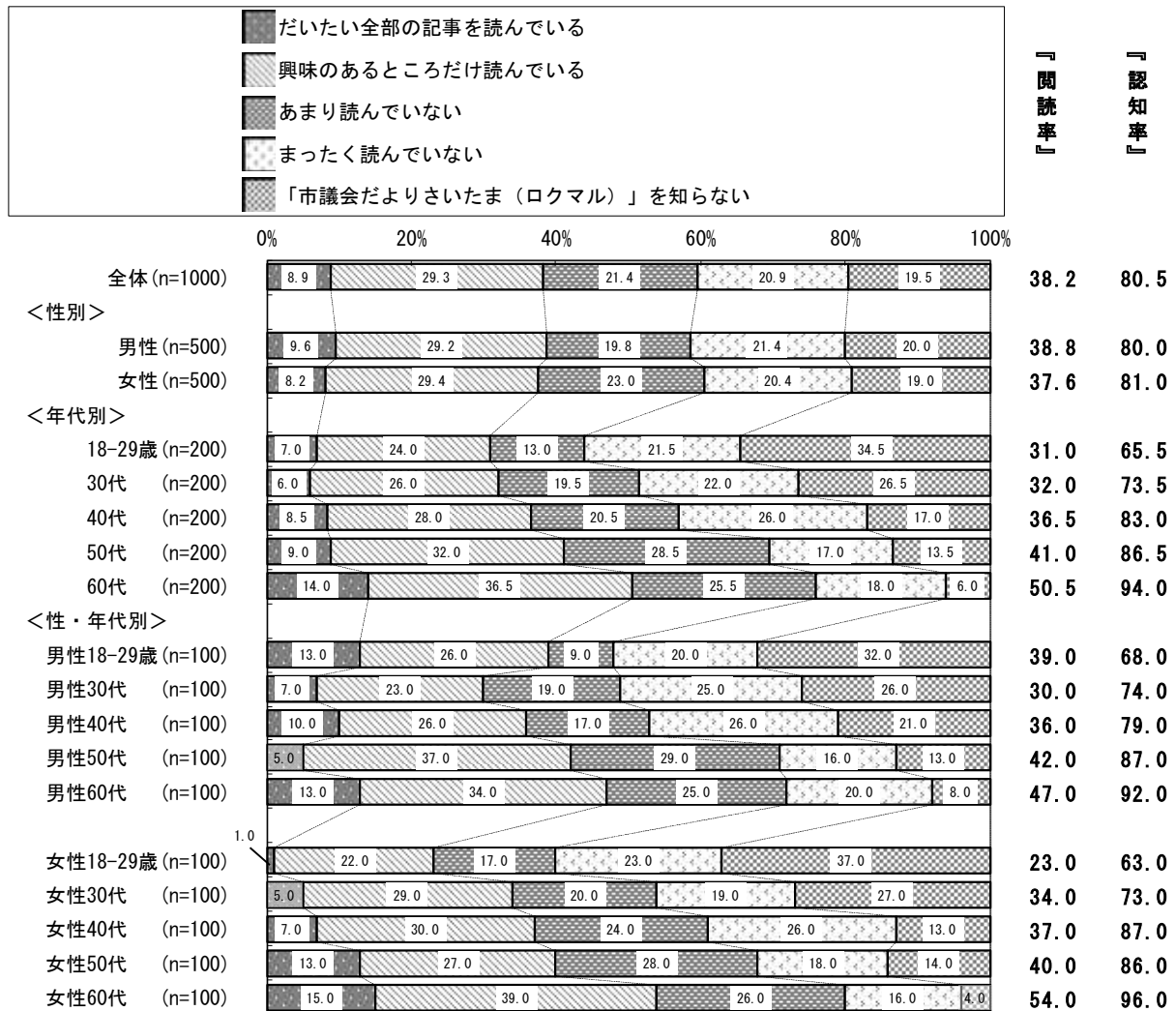
【市議会の広報について】

Q4. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいますか

さいたま市議会では、広報紙「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を年4回発行し、市内の全世帯に配布しています。

あなたは、ふだん、「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



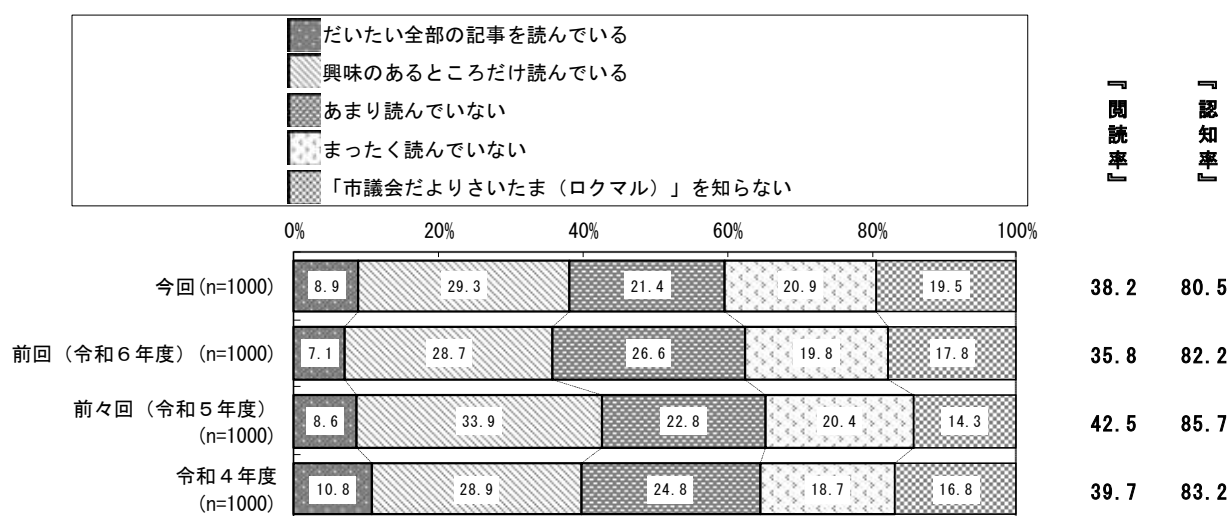
【全体結果】「だいたい全部の記事を読んでいる」(9%)と「興味のあるところだけ読んでいる」(29%)を合わせた『閲読率』は、38%であった。

また、「だいたい全部の記事を読んでいる」(9%)と「興味のあるところだけ読んでいる」(29%)と「あまり読んでいない」(21%)と「まったく読んでいない」(21%)を合わせた『認知率』は、81%であった。

◎年代別で見ると、『認知率』は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で94%となった。

◎性・年代別で見ると、『閲読率』は、女性60代(54%)のみ5割を超えた。

Q4. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいるか（経年比較）



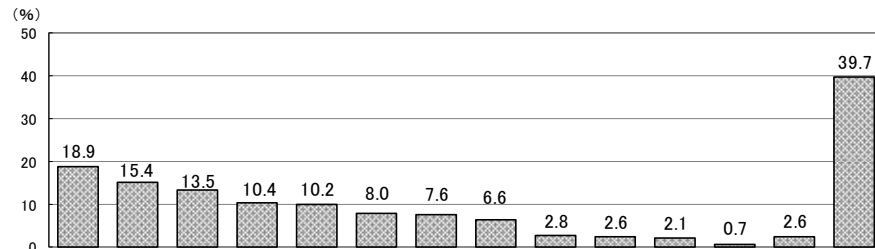
【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、前回とほぼ同じであった。

(Q4で、「あまり読んでいない」、「まったく読んでいない」を回答した人が対象)

Q5. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を読んでいない理由（複数回答）

あなたが、「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を読んでいない理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

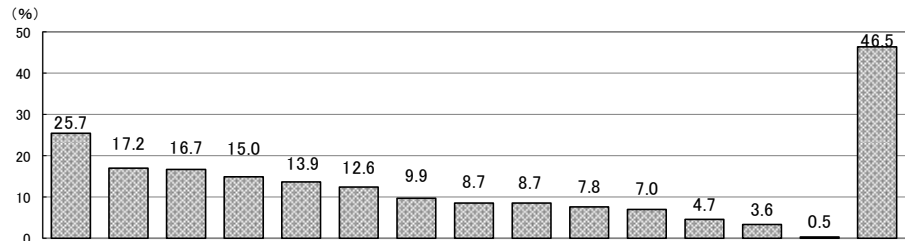


		市議会に興味がないから	内容が面白くないから	文章が長すぎて、読む気をなくすから	どこに何が書かれているかがわかりにくいから	自分に関係のある情報が書かれていないから	「市議会だよりさいたま（ロクマル）」に何が書かれているかを知らないから	知りたい情報が書かれていないから	文字が小さく見づらいから	市議会の情報は、市のホームページなど別の手段で入手しているから	解読できない用語があるから	書かれている情報が最新のものとでないから	すでに知っている情報しか書かれていないから	その他	特に理由はない／なんとなく
全体(n=423)		18.9	15.4	13.5	10.4	10.2	8.0	7.6	6.6	2.8	2.6	2.1	0.7	2.6	39.7
性別	男性(n=206)	18.0	13.1	15.0	11.7	7.3	5.8	6.8	6.8	3.9	1.9	2.4	1.0	2.9	39.8
	女性(n=217)	19.8	17.5	12.0	9.2	12.9	10.1	8.3	6.5	1.8	3.2	1.8	0.5	2.3	39.6
年代別	18-29歳(n=69)	21.7	14.5	8.7	11.6	2.9	10.1	7.2	4.3	0.0	1.4	1.4	1.4	1.4	39.1
	30代 (n=83)	19.3	10.8	10.8	6.0	9.6	8.4	9.6	3.6	2.4	1.2	1.2	0.0	4.8	38.6
	40代 (n=93)	17.2	17.2	14.0	11.8	12.9	9.7	6.5	8.6	3.2	2.2	3.2	0.0	2.2	39.8
	50代 (n=91)	20.9	15.4	18.7	14.3	11.0	8.8	4.4	7.7	2.2	4.4	1.1	2.2	4.4	40.7
	60代 (n=87)	16.1	18.4	13.8	8.0	12.6	3.4	10.3	8.0	5.7	3.4	3.4	0.0	0.0	40.2
性・年代別	男性18-29歳(n=29)	27.6	17.2	20.7	13.8	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	34.5
	男性30代 (n=44)	18.2	6.8	9.1	9.1	4.5	6.8	2.3	2.3	4.5	0.0	2.3	0.0	6.8	38.6
	男性40代 (n=43)	14.0	16.3	14.0	16.3	11.6	2.3	7.0	9.3	4.7	0.0	2.3	0.0	2.3	46.5
	男性50代 (n=45)	17.8	8.9	15.6	8.9	8.9	11.1	6.7	8.9	0.0	6.7	0.0	2.2	2.2	44.4
	男性60代 (n=45)	15.6	17.8	17.8	11.1	8.9	4.4	15.6	8.9	8.9	2.2	6.7	0.0	0.0	33.3
	女性18-29歳(n=40)	17.5	12.5	0.0	10.0	5.0	15.0	12.5	5.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	42.5
	女性30代 (n=39)	20.5	15.4	12.8	2.6	15.4	10.3	17.9	5.1	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	38.5
	女性40代 (n=50)	20.0	18.0	14.0	8.0	14.0	16.0	6.0	8.0	2.0	4.0	4.0	0.0	2.0	34.0
	女性50代 (n=46)	23.9	21.7	21.7	19.6	13.0	6.5	2.2	6.5	4.3	2.2	2.2	2.2	6.5	37.0
	女性60代 (n=42)	16.7	19.0	9.5	4.8	16.7	2.4	4.8	7.1	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	47.6

【全体結果】「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を読んでいない人（423 人）にその理由を聞いたところ、「市議会に興味がないから」が 19%で最も高く、「内容が面白くないから」（15%）、「文章が長すぎて、読む気をなくすから」（14%）が続いた。一方、「特に理由はない／なんとなく」は、40%であった。

◎性別で見ると、「内容が面白くないから」、「自分に関係のある情報が書かれていないから」は、女性が男性よりも 5 ポイント以上高かった。

Q 6. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」で特に見たい、または充実させてほしい情報（複数回答）
「市議会だよりさいたま（ロクマル）」で、あなたが、特に見たい、または充実させてほしいと思う情報は
何ですか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



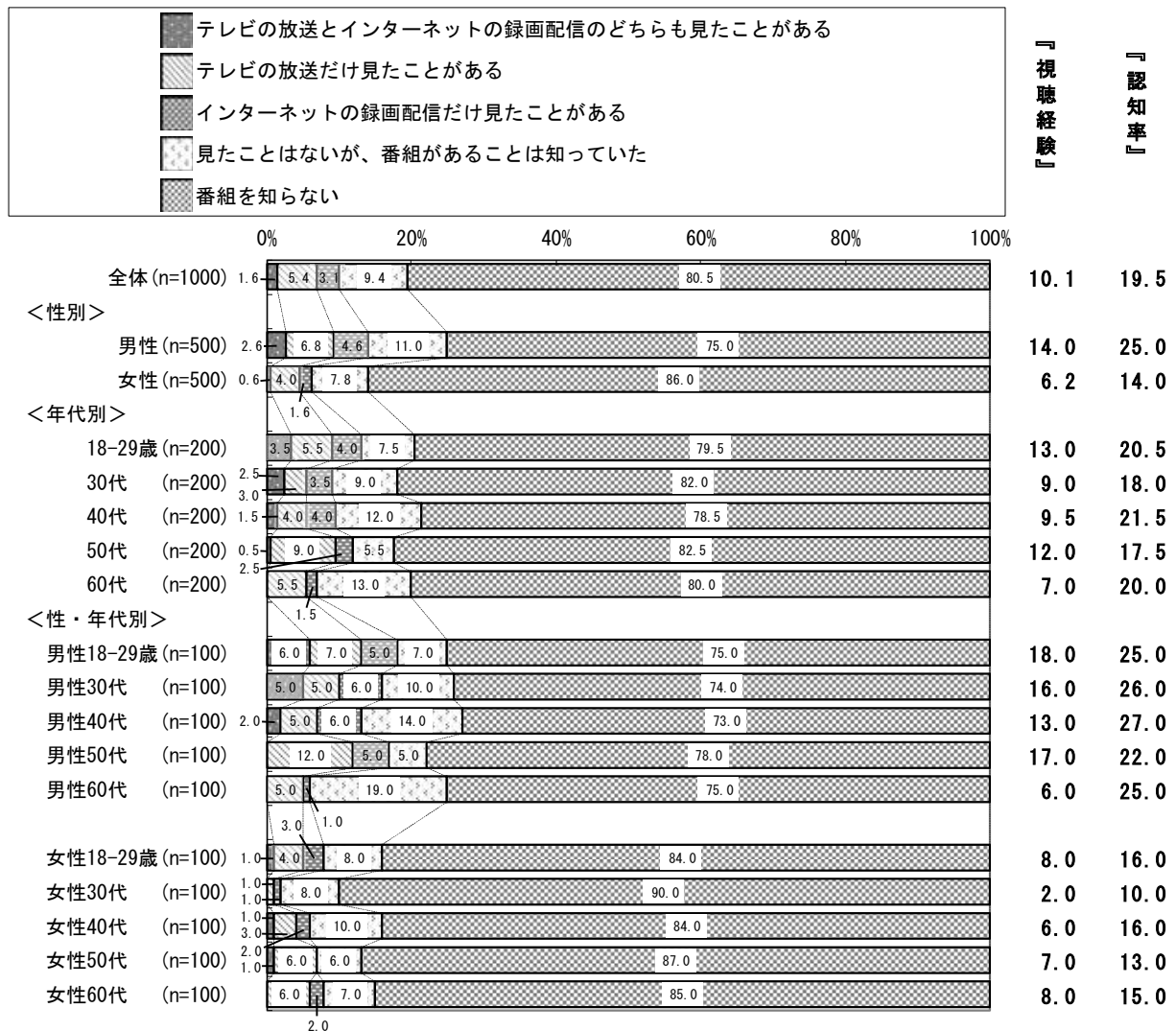
		市議会に提出された議案と議決結果	議員と市の間で行われた質疑内容	市議会で行われた議論の市政への反映	議案に対する各議員の賛成・反対の表明	政務活動費の交付額と使途	市議会の各委員会の活動状況	市議会議員の報酬額	市議会改革の取組内容	若者向けの企画	市議会の仕組み	市議会議員のプロフィール	請願や陳情の提出方法	市議会の傍聴案内	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)		25.7	17.2	16.7	15.0	13.9	12.6	9.9	8.7	8.7	7.8	7.0	4.7	3.6	0.5	46.5
性別	男性(n=500)	27.4	20.4	17.6	21.4	15.6	13.6	13.0	10.4	7.4	7.6	9.4	5.8	3.6	1.0	40.6
	女性(n=500)	24.0	14.0	15.8	8.6	12.2	11.6	6.8	7.0	10.0	8.0	4.6	3.6	3.6	0.0	52.4
年代別	18-29歳(n=200)	18.0	14.5	13.5	9.5	11.0	12.5	7.5	5.5	14.0	11.0	5.0	5.5	4.5	0.5	52.5
	30代 (n=200)	23.5	15.0	17.0	13.5	13.0	11.0	11.0	8.5	14.0	9.5	5.5	3.0	2.5	0.0	47.5
	40代 (n=200)	24.5	17.5	15.5	15.5	15.5	15.0	13.5	10.0	7.0	9.5	7.5	4.0	3.5	1.0	47.5
	50代 (n=200)	25.0	13.0	16.0	13.0	14.0	11.0	8.5	10.0	7.0	5.5	8.5	6.5	3.5	0.5	48.0
	60代 (n=200)	37.5	26.0	21.5	23.5	16.0	13.5	9.0	9.5	1.5	3.5	8.5	4.5	4.0	0.5	37.0
	男性18-29歳(n=100)	21.0	20.0	15.0	17.0	12.0	14.0	9.0	7.0	12.0	8.0	9.0	7.0	5.0	1.0	47.0
性・年代別	男性30代 (n=100)	30.0	17.0	19.0	19.0	16.0	13.0	17.0	11.0	10.0	11.0	8.0	5.0	3.0	0.0	39.0
	男性40代 (n=100)	23.0	18.0	13.0	24.0	18.0	15.0	18.0	12.0	6.0	10.0	9.0	6.0	4.0	2.0	41.0
	男性50代 (n=100)	22.0	13.0	20.0	15.0	16.0	10.0	11.0	10.0	7.0	8.0	11.0	7.0	2.0	1.0	44.0
	男性60代 (n=100)	41.0	34.0	21.0	32.0	16.0	16.0	10.0	12.0	2.0	1.0	10.0	4.0	4.0	1.0	32.0
	女性18-29歳(n=100)	15.0	9.0	12.0	2.0	10.0	11.0	6.0	4.0	16.0	14.0	1.0	4.0	4.0	0.0	58.0
	女性30代 (n=100)	17.0	13.0	15.0	8.0	10.0	9.0	5.0	6.0	18.0	8.0	3.0	1.0	2.0	0.0	56.0
	女性40代 (n=100)	26.0	17.0	18.0	7.0	13.0	15.0	9.0	8.0	8.0	9.0	6.0	2.0	3.0	0.0	54.0
	女性50代 (n=100)	28.0	13.0	12.0	11.0	12.0	12.0	6.0	10.0	7.0	3.0	6.0	6.0	5.0	0.0	52.0
	女性60代 (n=100)	34.0	18.0	22.0	15.0	16.0	11.0	8.0	7.0	1.0	6.0	7.0	5.0	4.0	0.0	42.0

【全体結果】「市議会に提出された議案と議決結果」が26%で最も高く、「議員と市の間で行われた質疑内容」、「市議会で行われた議論の市政への反映状況」（ともに17%）、「議案に対する各議員の賛成・反対の表明」（15%）が続いた。

- ◎性別で見ると、「議員と市の間で行われた質疑内容」、「議案に対する各議員の賛成・反対の表明」、「市議会議員の報酬額」は、男性が女性よりも6ポイント以上高かった。
- ◎年代別で見ると、「市議会に提出された議案と議決結果」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で38%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「議員と市の間で行われた質疑内容」は、男性60代(34%)のみ3割を超えた。

Q 7. テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがあるか

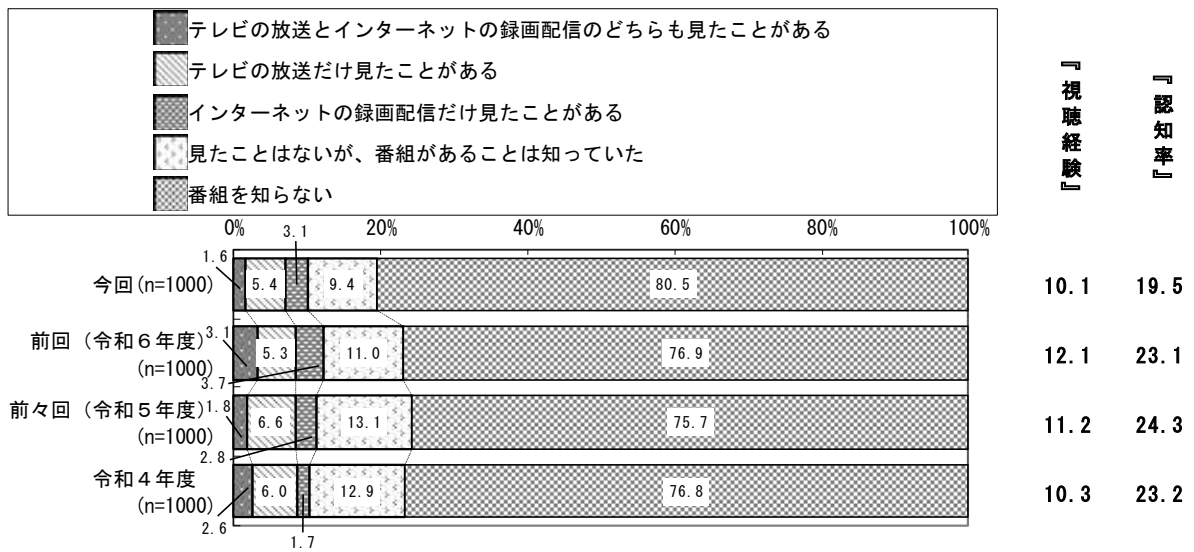
さいたま市議会では、テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をテレビ埼玉で年4回放送しています。また、インターネット（市議会のホームページやYouTube）での録画配信も行っています。あなたは、「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがありますか。以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「テレビの放送とインターネットの録画配信のどちらも見たことがある」(2%)と「テレビの放送だけ見たことがある」(5%)と「インターネットの録画配信だけ見たことがある」(3%)を合わせた『視聴経験』は、10%であった。
また、「テレビの放送とインターネットの録画配信のどちらも見たことがある」(2%)と「テレビの放送だけ見たことがある」(5%)と「インターネットの録画配信だけ見たことがある」(3%)と「見たことはないが、番組があることは知っていた」(9%)を合わせた『認知率』は、20%であった。

○性別で見ると、『視聴経験』、『認知率』は、男性が女性よりも8ポイント以上高かった。

Q 7. テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがあるか（経年比較）

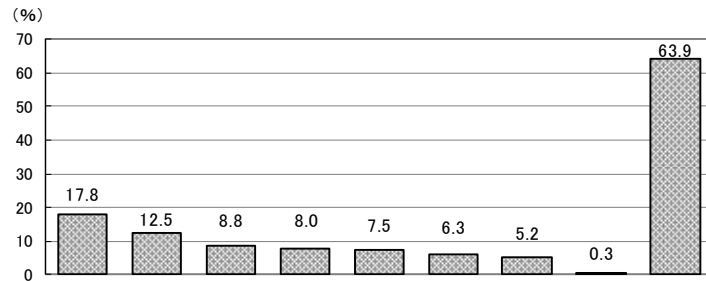


【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、前回とほぼ同じであった。

Q 8. 「ようこそさいたま市議会へ」で特に見たい、または充実させてほしいもの(複数回答)

テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」で、あなたが、特に見たい、または充実させてほしいと思うものは何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		定例会のダイジェスト（提出された主な議案、議決結果など）	委員会（分野ごとに議案などを詳しく審査する場）の様子	議員へのインタビュー	議会の仕組みなどの解説	市民が登場する企画	議員同士の対談	議員と著名人の対談	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)		17.8	12.5	8.8	8.0	7.5	6.3	5.2	0.3	63.9
性別	男性(n=500)	20.2	14.4	10.4	8.8	8.6	8.2	7.6	0.6	58.8
	女性(n=500)	15.4	10.6	7.2	7.2	6.4	4.4	2.8	0.0	69.0
年代別	18～29歳(n=200)	13.5	8.0	10.0	6.5	8.5	9.5	5.0	0.0	68.0
	30代 (n=200)	15.5	10.0	6.5	8.0	6.0	6.5	5.0	0.0	66.0
	40代 (n=200)	16.5	12.5	9.5	10.5	8.5	6.5	7.0	0.5	65.0
	50代 (n=200)	16.5	13.0	9.0	6.5	6.5	3.5	6.0	1.0	64.5
	60代 (n=200)	27.0	19.0	9.0	8.5	8.0	5.5	3.0	0.0	56.0
性・年代別	男性18～29歳(n=100)	17.0	11.0	14.0	7.0	12.0	12.0	7.0	0.0	60.0
	男性30代 (n=100)	19.0	11.0	10.0	11.0	5.0	10.0	8.0	0.0	59.0
	男性40代 (n=100)	19.0	13.0	8.0	14.0	9.0	9.0	9.0	1.0	61.0
	男性50代 (n=100)	18.0	15.0	10.0	3.0	7.0	4.0	10.0	2.0	62.0
	男性60代 (n=100)	28.0	22.0	10.0	9.0	10.0	6.0	4.0	0.0	52.0
	女性18～29歳(n=100)	10.0	5.0	6.0	6.0	5.0	7.0	3.0	0.0	76.0
	女性30代 (n=100)	12.0	9.0	3.0	5.0	7.0	3.0	2.0	0.0	73.0
	女性40代 (n=100)	14.0	12.0	11.0	7.0	8.0	4.0	5.0	0.0	69.0
	女性50代 (n=100)	15.0	11.0	8.0	10.0	6.0	3.0	2.0	0.0	67.0
	女性60代 (n=100)	26.0	16.0	8.0	8.0	6.0	5.0	2.0	0.0	60.0

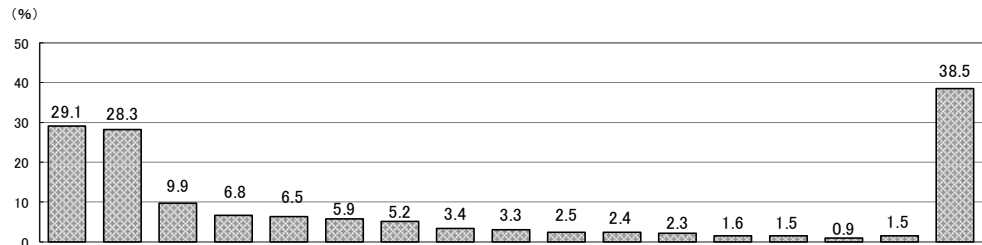
【全体結果】「定例会のダイジェスト（提出された主な議案、議決結果など）」が18%で最も高く、「委員会（分野ごとに議案などを詳しく審査する場）の様子」（13%）、「議員へのインタビュー」（9%）が続いた。

- ◎性別で見ると、「定例会のダイジェスト（提出された主な議案、議決結果など）」、「議員と著名人の対談」は、男性が女性よりも5ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「定例会のダイジェスト（提出された主な議案、議決結果など）」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で27%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「委員会（分野ごとに議案などを詳しく審査する場）の様子」は、男性60代(22%)のみ2割を超えた。

【区役所における窓口サービスについて】

Q 9. 1年以内に区役所等を利用した用件（複数回答）

あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口をどのような用件で利用しましたか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		各種証明書の取得	印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き	引越に伴う届出	障害者福祉に関する手続き	税の申告、納付、相談など	戸籍の届出	国民健康保険に関する手続き	児童福祉に関する手続き	国民年金に関する手続き	の支払いなど	上下水道の開始や中止の手続き、料金	母子保健に関すること	高齢者福祉に関する手続き	情報公開コーナーの利用	後期高齢者医療・福祉医療に関する手続き	生活保護の申請・相談	その他	覚えていない／利用していない
全体(n=1000)		29.1	28.3	9.9	6.8	6.5	5.9	5.2	3.4	3.3	2.5	2.4	2.3	2.3	1.6	1.5	0.9	1.5	38.5
性別	男性(n=500)	30.2	27.6	9.6	6.6	7.0	7.4	4.6	3.2	2.6	3.2	1.6	2.4	2.6	1.8	1.4	1.2	38.8	
	女性(n=500)	28.0	29.0	10.2	7.0	6.0	4.4	5.8	3.6	4.0	1.8	3.2	2.2	0.6	1.2	0.4	1.8	38.2	
年代別	18-29歳(n=200)	27.0	24.5	22.0	8.5	6.5	10.5	4.5	3.0	4.0	3.5	3.5	1.0	2.5	0.5	2.0	1.5	40.5	
	30代 (n=200)	27.0	30.5	15.0	2.5	4.0	7.5	4.5	9.5	4.0	2.5	6.0	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	36.5	
	40代 (n=200)	25.0	24.0	5.0	5.0	8.5	5.0	3.5	3.0	2.5	3.0	2.0	1.5	1.5	3.0	0.5	1.0	43.5	
	50代 (n=200)	30.0	28.5	4.5	10.5	5.0	3.0	4.0	1.0	2.5	2.5	0.0	4.5	2.5	0.5	1.0	1.0	39.0	
	60代 (n=200)	36.5	34.0	3.0	7.5	8.5	3.5	9.5	0.5	3.5	1.0	0.5	3.5	0.0	2.5	0.5	3.0	33.0	
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	26.0	24.0	18.0	9.0	7.0	14.0	3.0	2.0	4.0	4.0	3.0	2.0	5.0	1.0	3.0	1.0	43.0	
	男性30代 (n=100)	35.0	31.0	13.0	1.0	4.0	10.0	5.0	8.0	2.0	5.0	2.0	2.0	3.0	1.0	1.0	1.0	35.0	
	男性40代 (n=100)	22.0	21.0	7.0	6.0	9.0	6.0	1.0	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	0.0	46.0	
	男性50代 (n=100)	26.0	28.0	7.0	8.0	5.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	0.0	2.0	3.0	1.0	1.0	0.0	41.0	
	男性60代 (n=100)	42.0	34.0	3.0	9.0	10.0	4.0	11.0	1.0	3.0	1.0	0.0	4.0	0.0	4.0	1.0	4.0	29.0	
	女性18-29歳(n=100)	28.0	25.0	26.0	8.0	6.0	7.0	6.0	4.0	4.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	38.0	
	女性30代 (n=100)	19.0	30.0	17.0	4.0	4.0	5.0	4.0	11.0	6.0	0.0	10.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	38.0	
	女性40代 (n=100)	28.0	27.0	3.0	4.0	8.0	4.0	6.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	4.0	0.0	2.0	41.0	
	女性50代 (n=100)	34.0	29.0	2.0	13.0	5.0	3.0	5.0	0.0	3.0	2.0	0.0	7.0	2.0	0.0	1.0	2.0	37.0	
	女性60代 (n=100)	31.0	34.0	3.0	6.0	7.0	3.0	8.0	0.0	4.0	1.0	1.0	3.0	0.0	1.0	0.0	2.0	37.0	

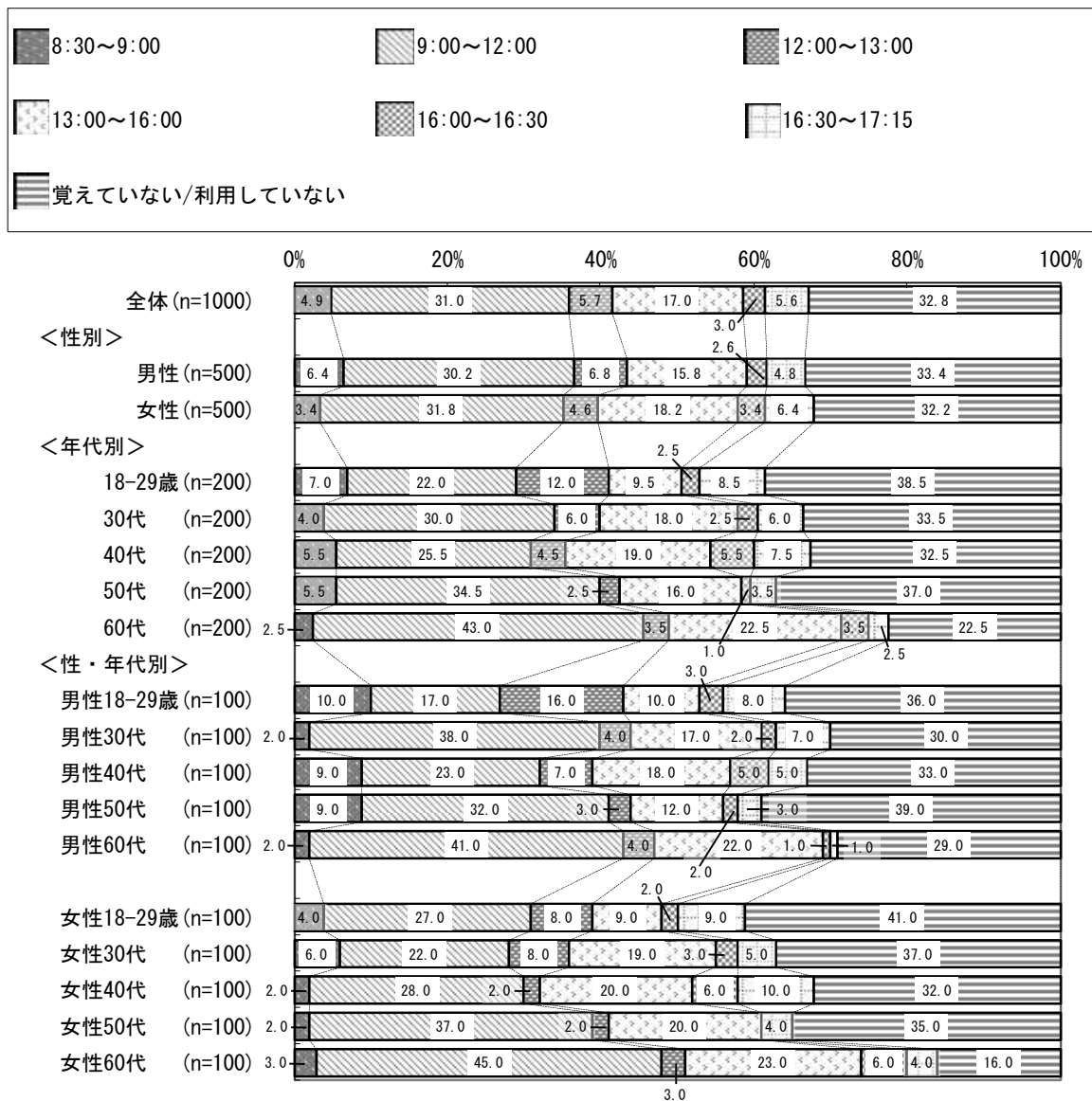
【全体結果】「各種証明書の取得」が 29%で最も高く、「印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き」(28%)が続いた。

◎年代別で見ると、「引越に伴う届出」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29 歳で 22% となった。

◎性・年代別で見ると、「各種証明書の取得」は、男性 60 代(42%)のみ 4 割を超えた。

Q10. 区役所の利用時間

あなたは、平日の8:30～17:15のどの時間帯に区役所を利用することが最も多いですか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

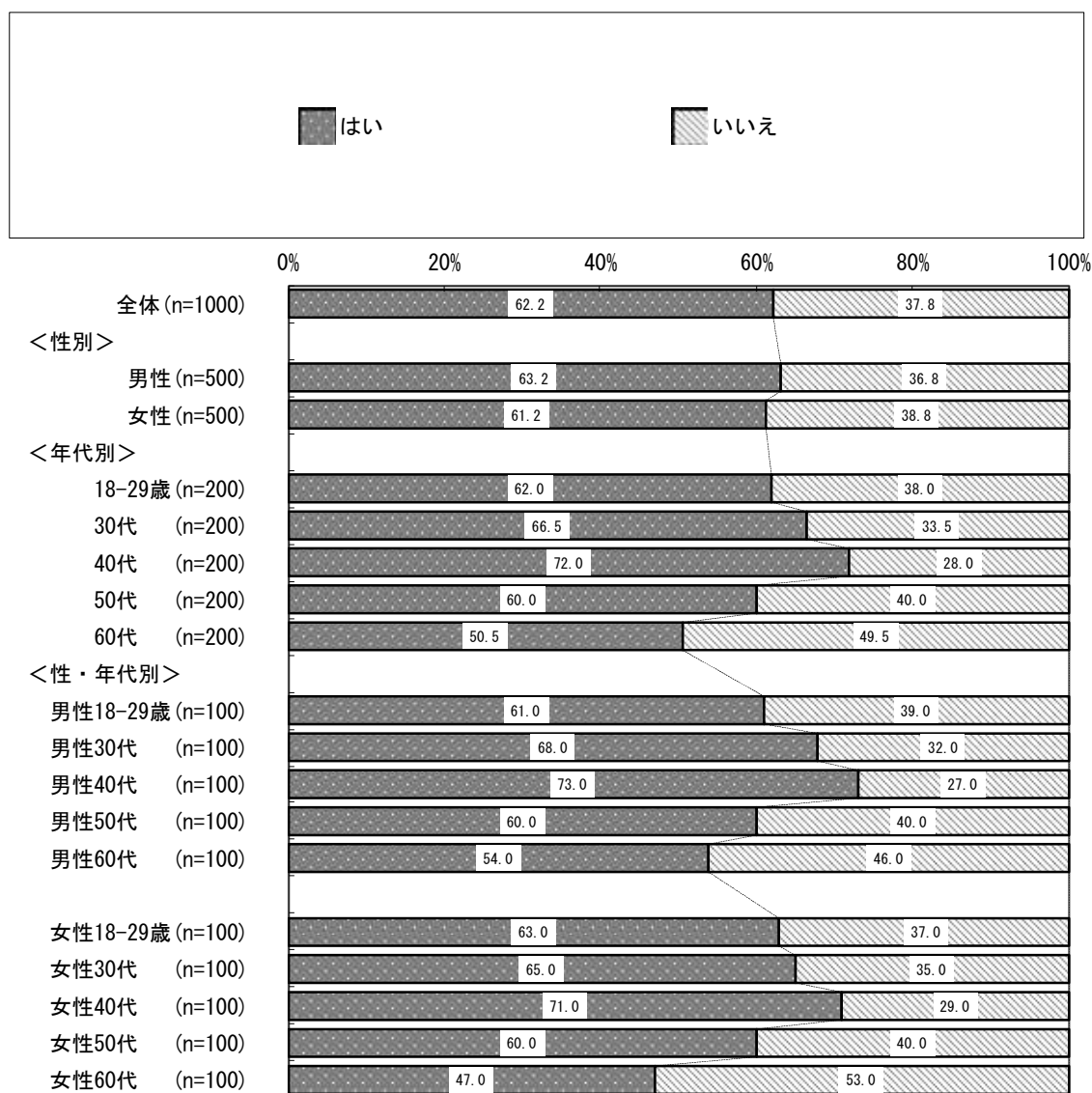


【全体結果】「9:00～12:00」が31%で最も高く、「13:00～16:00」が17%、「12:00～13:00」、「16:30～17:15」がともに6%であった。

◎年代別で見ると、「9:00～12:00」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で43%となった。

Q 1 1. 区役所や支所・市民の窓口を利用したいか

あなたは、平日の8:30~17:15以外の時間帯に区役所や支所・市民の窓口を利用したいと思いますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「はい」は62%であった。

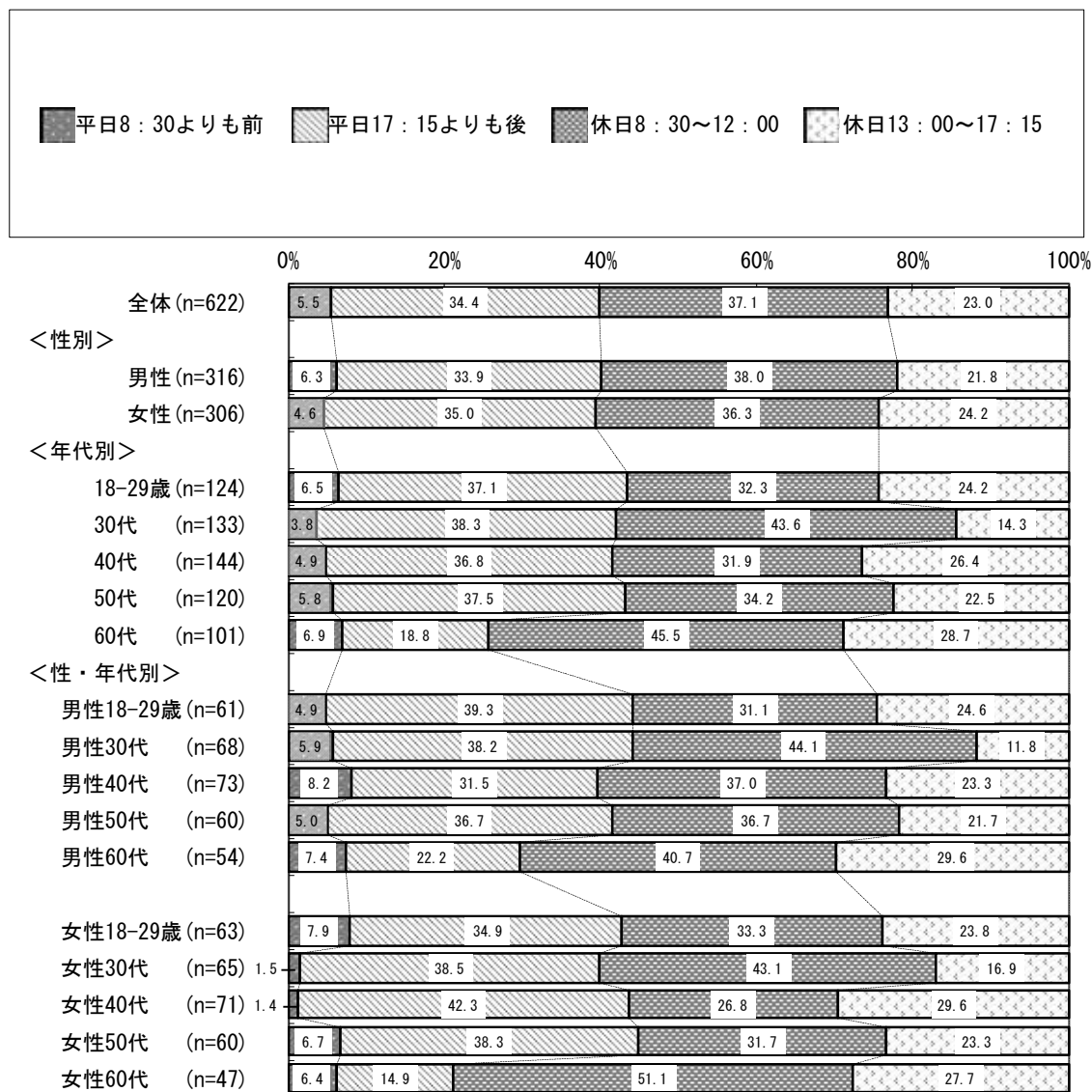
◎年代別で見ると、「はい」は、40代(72%)のみ7割を超えた。

◎性・年代別で見ると、「いいえ」は、女性60代(53%)のみ5割を超えた。

(Q11で、「はい」を回答した人が対象)

Q12. 区役所が開いていると便利だと思う時間帯（複数回答）

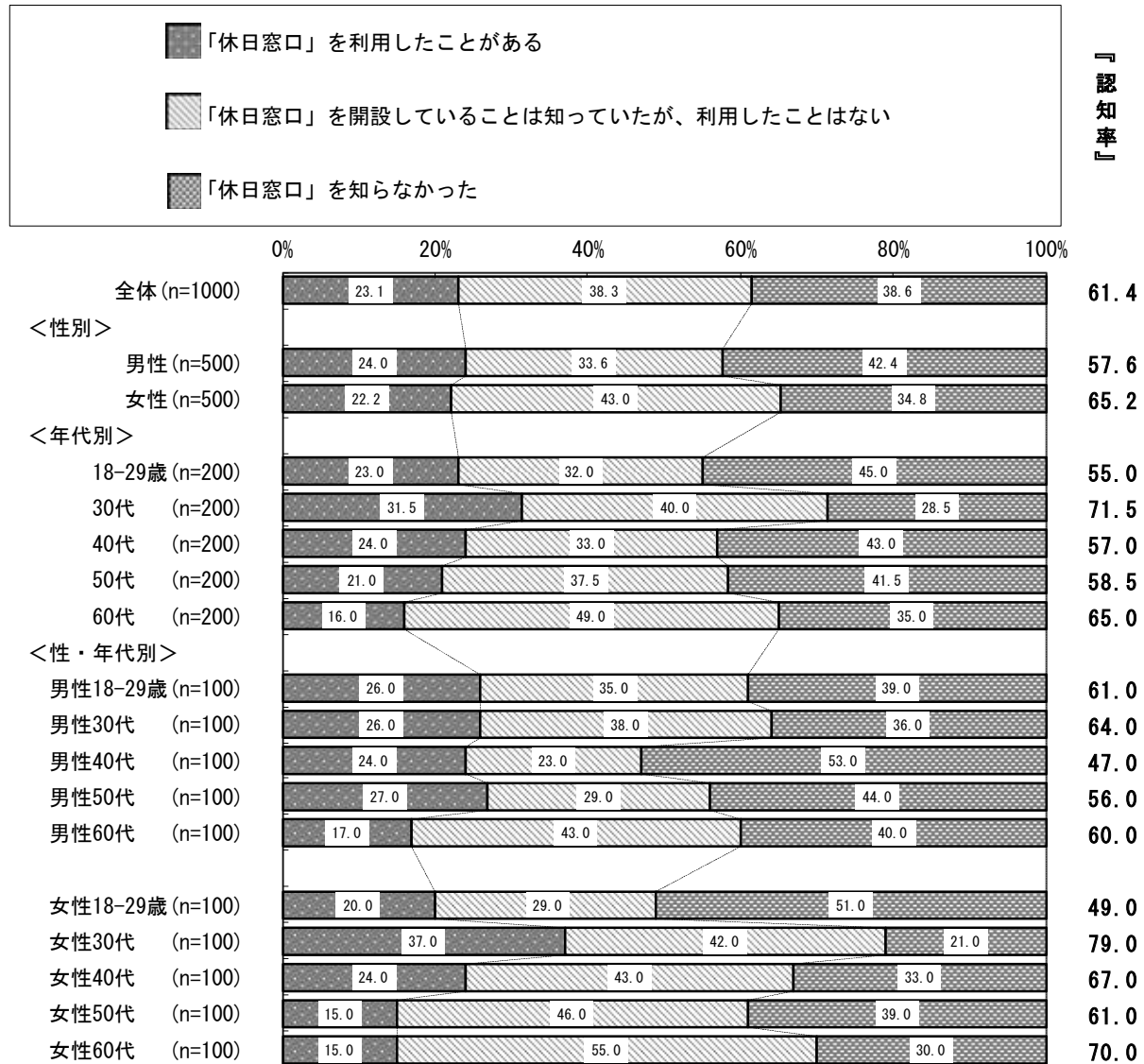
あなたは、平日の8:30~17:15以外の、どの時間帯に区役所が開いていると便利だと思いますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】 平日の8:30~17:15以外の時間帯に区役所や支所・市民の窓口を利用したい人（622人）に便利だと思う時間帯を聞いたところ、「休日8:30~12:00」が37%で最も高く、「平日17:15よりも後」(34%)、「休日13:00~17:15」(23%)が続いた。

Q 1 3. 休日窓口の利用経験

あなたは、「休日窓口」を利用したことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



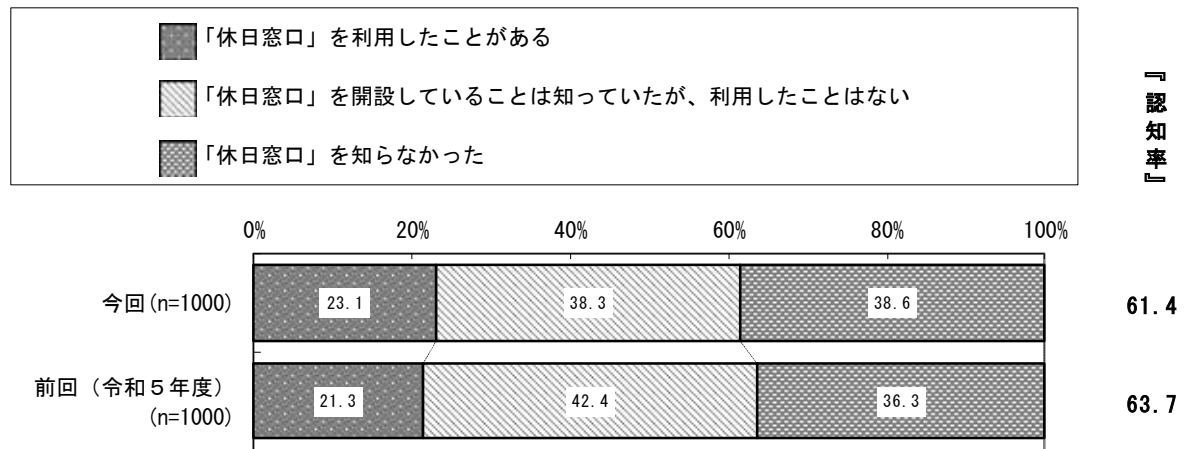
【全体結果】「休日窓口」を利用したことがある（23%）と「休日窓口」を開設していることは知っていたが、利用したことはない（38%）を合わせた『認知率』は、61%であった。

◎性別で見ると、『認知率』は、女性(65%)が男性(58%)よりも7ポイント高かった。

◎年代別で見ると、『認知率』は、30代(72%)のみ7割を超えた。

◎性・年代別で見ると、「休日窓口」を利用したことがあるは、女性30代(37%)のみ3割を超えた。

Q 1 3. 休日窓口の利用経験（経年比較）

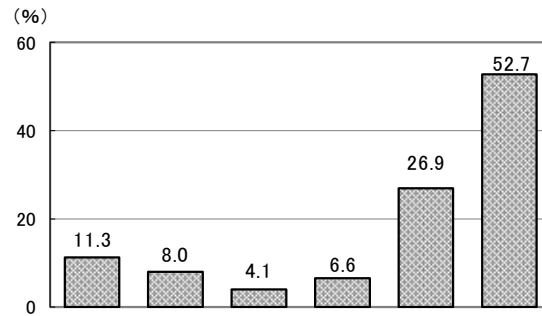


【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、前回とほぼ同じであった。

【さいたまキッズなCity 大会宣言に関するアンケートについて】

Q14. 子どもの有無（複数回答）

あなたは、お子さんがいますか。同居、別居を問わず、すべてのお子さんについて、お答えください。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

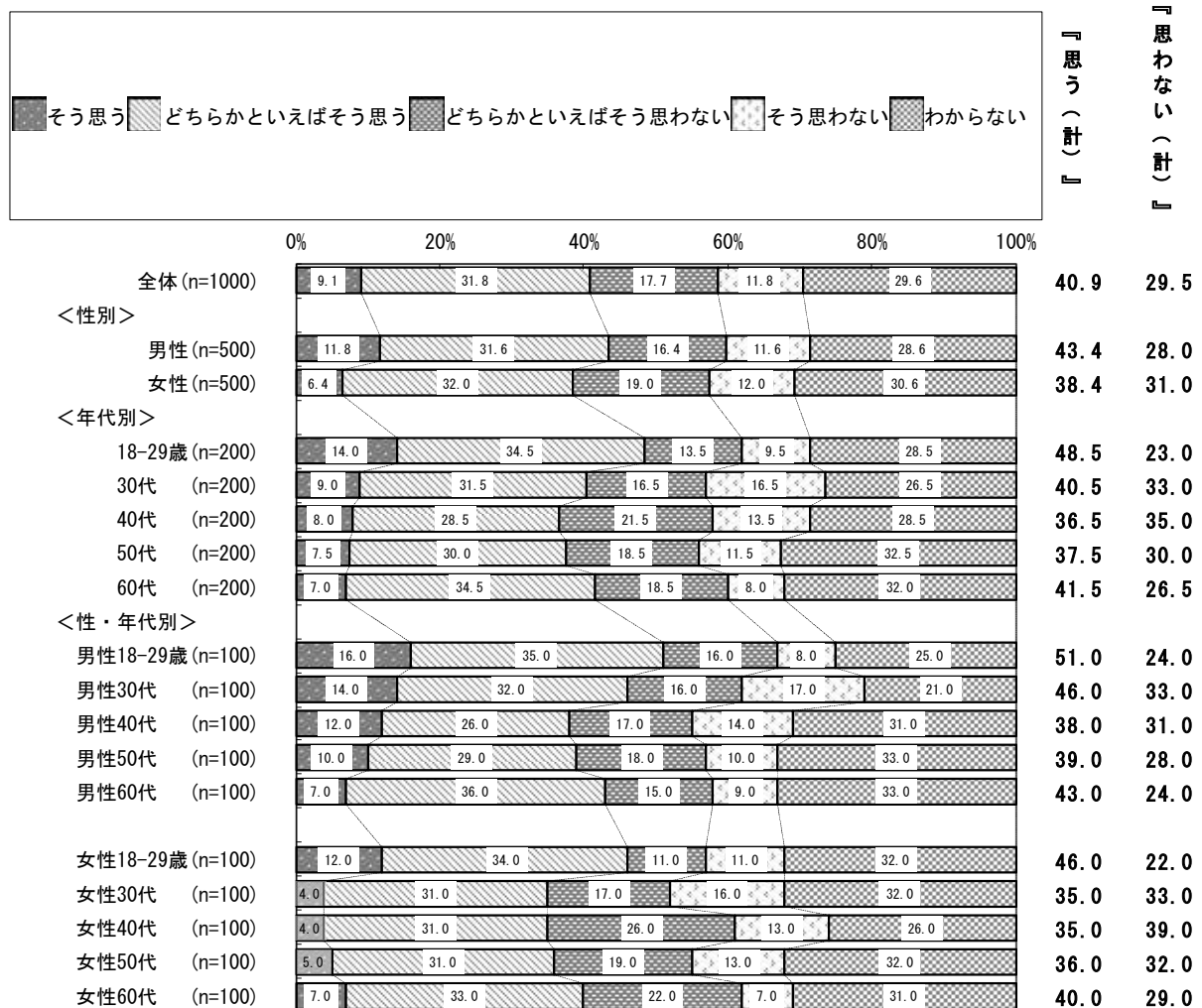


		0歳～6歳（小学校就学前）の子がいる	小学生の子がいる	中学生の子がいる	中学校卒業～18歳の子がいる	19歳以上の子がいる	子どもはいない
全体(n=1000)		11.3	8.0	4.1	6.6	26.9	52.7
性別	男性(n=500)	11.4	9.0	4.4	7.4	24.0	54.2
	女性(n=500)	11.2	7.0	3.8	5.8	29.8	51.2
年代別	18～29歳(n=200)	8.0	1.5	1.0	2.0	1.5	90.0
	30代 (n=200)	34.5	12.5	1.5	1.5	0.0	58.0
	40代 (n=200)	13.5	19.0	14.0	15.0	15.0	47.0
	50代 (n=200)	0.5	7.0	4.0	14.0	46.0	41.0
	60代 (n=200)	0.0	0.0	0.0	0.5	72.0	27.5
性・年代別	男性18～29歳(n=100)	6.0	2.0	2.0	4.0	3.0	91.0
	男性30代 (n=100)	32.0	12.0	2.0	1.0	0.0	60.0
	男性40代 (n=100)	18.0	19.0	12.0	15.0	8.0	49.0
	男性50代 (n=100)	1.0	12.0	6.0	17.0	39.0	41.0
	男性60代 (n=100)	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	30.0
	女性18～29歳(n=100)	10.0	1.0	0.0	0.0	0.0	89.0
	女性30代 (n=100)	37.0	13.0	1.0	2.0	0.0	56.0
	女性40代 (n=100)	9.0	19.0	16.0	15.0	22.0	45.0
	女性50代 (n=100)	0.0	2.0	2.0	11.0	53.0	41.0
	女性60代 (n=100)	0.0	0.0	0.0	1.0	74.0	25.0

Q15. さいたま市が、社会全体で子どもの成長を支えあっている市であると感じるか

あなたは、さいたま市が、この宣言にあるように、家庭や地域、事業者、行政など社会全体で子どもの成長を支えあっている市であると思いますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

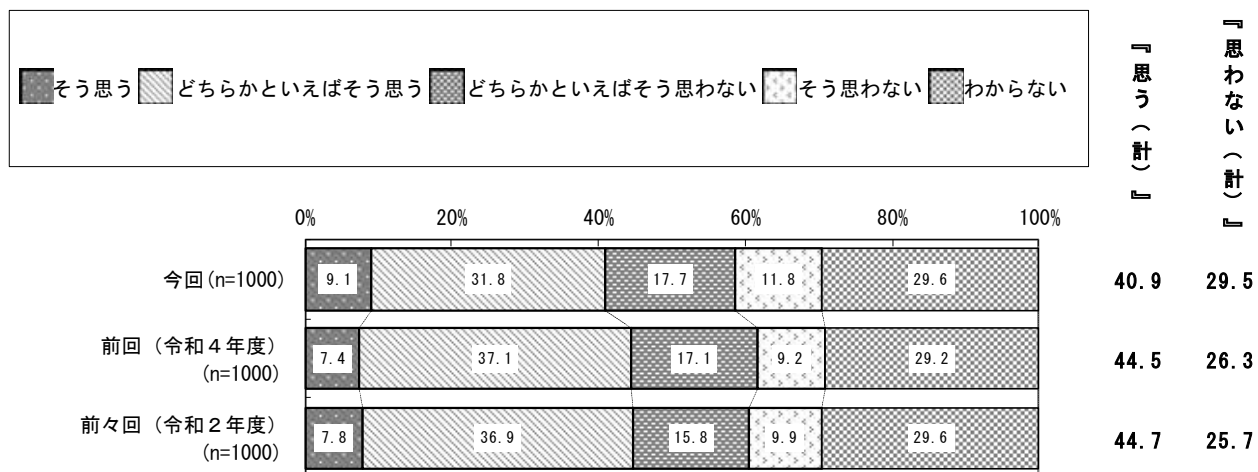


【全体結果】「そう思う」(9%)と「どちらかといえばそう思う」(32%)を合わせた『思う（計）』は、41%であった。

◎性別で見ると、『思う（計）』は、男性(43%)が女性(38%)よりも5ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、『思う（計）』は、男性18-29歳(51%)のみ5割を超えた。

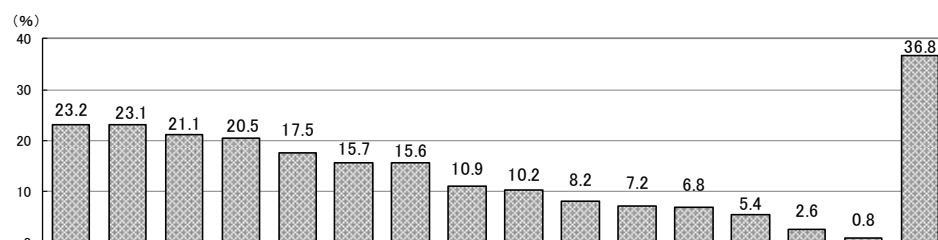
Q 1 5. さいたま市が、社会全体で子どもの成長を支えあっている市であると感じるか（経年比較）



【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、「どちらかといえばそう思う」は、前回の調査結果よりも5ポイント低くなった。

Q16. 「さいたまキッズなCity 大会宣言」や子どもの権利を普及・啓発するにあたって、情報が目に留まりやすい場所（複数回答）

さいたま市が、「さいたまキッズなCity 大会宣言」や子どもの権利などをより普及・啓発していくために、どこに情報をのせれば、あなたの目に留まりやすいですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		「市報さいたま」	駅構内・街頭ビジョン	市ホームページ・SNS (Facebook、X (旧 Twitter) など)	図書館・公民館・児童センター・子育て支援センター	民間の商業施設	区役所や支所	保育園・幼稚園・学校での掲示や配布	自治会の回覧板	さいたま市のお祭り	新聞・タウン誌 (紙)・地元の情報誌 (紙)	報番組・ラジオにおけるさいたま市広報	転入手続きの際にもらう市の案内	市が発行する「子育て応援ブック」	フォーラムやシンポジウムなどの啓発イベント	その他	特になし／わからない
全体(n=1000)		23.2	23.1	21.1	20.5	17.5	15.7	15.6	10.9	10.2	8.2	7.2	6.8	5.4	2.6	0.8	36.8
性別	男性(n=500)	21.4	23.2	20.8	16.8	16.6	14.6	13.4	11.4	11.0	8.0	9.4	6.4	5.4	3.0	0.8	36.4
	女性(n=500)	25.0	23.0	21.4	24.2	18.4	16.8	17.8	10.4	9.4	8.4	5.0	7.2	5.4	2.2	0.8	37.2
年代別	18-29歳(n=200)	15.0	25.0	18.0	18.0	13.0	14.0	8.5	6.5	9.0	5.0	5.5	5.5	4.5	1.5	1.0	45.5
	30代 (n=200)	14.5	23.0	21.5	20.0	15.5	15.0	24.5	6.5	15.0	5.5	4.0	8.0	8.0	1.0	0.5	36.0
	40代 (n=200)	21.5	21.5	19.0	20.5	15.0	18.0	19.5	11.5	12.0	9.0	7.5	7.5	5.5	2.0	0.5	35.5
	50代 (n=200)	24.0	24.0	19.5	18.5	21.0	12.0	13.0	10.5	10.5	9.0	9.0	6.0	4.0	4.5	1.5	37.0
	60代 (n=200)	41.0	22.0	27.5	25.5	23.0	19.5	12.5	19.5	4.5	12.5	10.0	7.0	5.0	4.0	0.5	30.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	18.0	24.0	19.0	17.0	11.0	11.0	5.0	9.0	8.0	7.0	8.0	8.0	7.0	2.0	1.0	41.0
	男性30代 (n=100)	15.0	25.0	21.0	14.0	16.0	15.0	21.0	7.0	17.0	5.0	6.0	6.0	6.0	1.0	1.0	32.0
	男性40代 (n=100)	18.0	21.0	16.0	15.0	14.0	17.0	17.0	14.0	15.0	7.0	9.0	6.0	5.0	3.0	0.0	38.0
	男性50代 (n=100)	20.0	25.0	23.0	14.0	20.0	12.0	13.0	10.0	11.0	9.0	12.0	5.0	5.0	3.0	1.0	39.0
	男性60代 (n=100)	36.0	21.0	25.0	24.0	22.0	18.0	11.0	17.0	4.0	12.0	12.0	7.0	4.0	6.0	1.0	32.0
	女性18-29歳(n=100)	12.0	26.0	17.0	19.0	15.0	17.0	12.0	4.0	10.0	3.0	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0	50.0
	女性30代 (n=100)	14.0	21.0	22.0	26.0	15.0	15.0	28.0	6.0	13.0	6.0	2.0	10.0	10.0	1.0	0.0	40.0
	女性40代 (n=100)	25.0	22.0	22.0	26.0	16.0	19.0	22.0	9.0	9.0	11.0	6.0	9.0	6.0	1.0	1.0	33.0
	女性50代 (n=100)	28.0	23.0	16.0	23.0	22.0	12.0	13.0	11.0	10.0	9.0	6.0	7.0	3.0	6.0	2.0	35.0
	女性60代 (n=100)	46.0	23.0	30.0	27.0	24.0	21.0	14.0	22.0	5.0	13.0	8.0	7.0	6.0	2.0	0.0	28.0

【全体結果】「市報さいたま」、「駅構内・街頭ビジョン」がともに 23%で最も高く、「市ホームページ・SNS (Facebook、X (旧 Twitter) など)」、「図書館・公民館・児童センター・子育て支援センター」(ともに 21%)、「民間の商業施設」(18%)が続いた。

◎性別で見ると、「図書館・公民館・児童センター・子育て支援センター」、「保育園・幼稚園・学校での掲示や配布」は、女性が男性よりも 5 ポイント以上高かった。

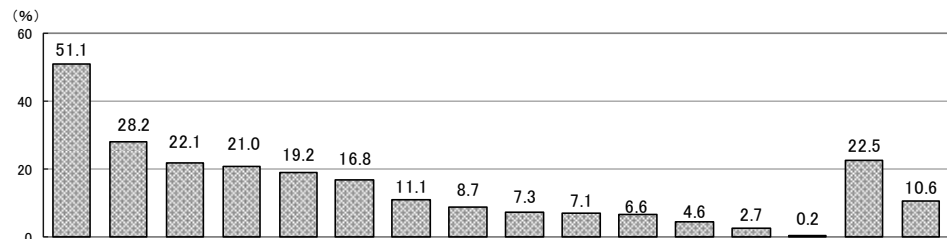
◎性・年代別で見ると、「市報さいたま」は、女性では、年代が上がるにつれ高くなり、60代で 46%となった。また、「市ホームページ・SNS (Facebook、X (旧 Twitter) など)」は、女性 60 代のみ 3 割であった。

【家庭での災害時の備えに関する質問】

Q 17. 災害に対して日ごろから行っている備え(複数回答)

あなたの家庭で災害に対して日ごろから行っている備えはありますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



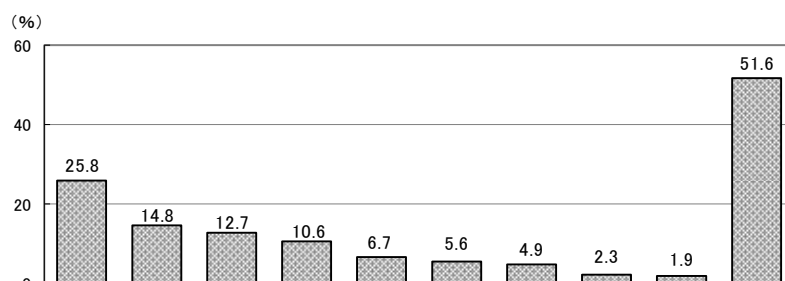
		食料品や飲料水を準備している	携帯ラジオ・懐中電灯を準備している	携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を準備している	トイレが使えない場合に備え、簡易トイレ・携帯トイレを準備している	非常時に必要なものを持ち出せるようにしている(食料、水、貴重品、衣類、毛布など)	家族の状況に応じた必要な生活用品を準備している(常備薬、おむつ、生活用品を準備)	地震発生時にケガをしたり、避難経路がふさがれたりしないよう、家具の転倒防止対策や設置場所の工夫をしている	家族と離ればなれになった時の連絡方法を決めている	断水に備え、風呂の残り湯を貯めている	地震や風水害など、災害の種類に応じて避難する場所を決めている	停電時に自動で点灯する足元灯を設置している	家の中や家の周囲で災害時に危険になりそうな場所を調べている	地震火災に備え、感震ブレーカーを設置している	その他	特に何もしていない	わからない
全体(n=1000)		51.1	28.2	22.1	21.0	19.2	16.8	11.1	8.7	7.3	7.1	6.6	4.6	2.7	0.2	22.5	10.6
性別	男性(n=500)	47.6	24.8	23.6	17.0	18.0	13.6	8.6	7.6	5.8	6.2	6.6	3.4	3.0	0.4	24.2	10.4
	女性(n=500)	54.6	31.6	20.6	25.0	20.4	20.0	13.6	9.8	8.8	8.0	6.6	5.8	2.4	0.0	20.8	10.8
年代別	18-29歳(n=200)	38.5	20.0	15.0	10.5	17.0	12.5	9.0	6.5	4.5	4.0	5.0	3.5	3.5	0.0	26.5	16.5
	30代(n=200)	45.5	18.0	20.5	17.0	22.5	17.5	7.5	6.0	3.0	4.5	3.0	5.5	1.5	1.0	26.5	11.5
	40代(n=200)	45.5	24.0	25.0	22.5	17.5	20.5	12.0	9.0	6.5	7.5	7.5	5.0	3.0	0.0	24.0	11.0
	50代(n=200)	57.0	33.5	24.0	20.5	15.0	16.0	12.5	9.0	8.5	8.0	8.0	2.5	3.0	0.0	19.0	10.5
	60代(n=200)	69.0	45.5	26.0	34.5	24.0	17.5	14.5	13.0	14.0	11.5	9.5	6.5	2.5	0.0	16.5	3.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	38.0	20.0	16.0	10.0	17.0	8.0	9.0	6.0	5.0	4.0	6.0	3.0	4.0	0.0	24.0	14.0
	男性30代(n=100)	42.0	19.0	23.0	17.0	22.0	14.0	8.0	6.0	4.0	5.0	4.0	7.0	2.0	2.0	31.0	8.0
	男性40代(n=100)	37.0	21.0	25.0	12.0	15.0	15.0	11.0	8.0	5.0	6.0	7.0	2.0	4.0	0.0	27.0	15.0
	男性50代(n=100)	56.0	28.0	27.0	15.0	14.0	16.0	7.0	7.0	8.0	5.0	7.0	2.0	3.0	0.0	19.0	10.0
	男性60代(n=100)	65.0	36.0	27.0	31.0	22.0	15.0	8.0	11.0	7.0	11.0	9.0	3.0	2.0	0.0	20.0	5.0
	女性18-29歳(n=100)	39.0	20.0	14.0	11.0	17.0	17.0	9.0	7.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	0.0	29.0	19.0
	女性30代(n=100)	49.0	17.0	18.0	17.0	23.0	21.0	7.0	6.0	2.0	4.0	2.0	4.0	1.0	0.0	22.0	15.0
	女性40代(n=100)	54.0	27.0	25.0	33.0	20.0	26.0	13.0	10.0	8.0	9.0	8.0	8.0	2.0	0.0	21.0	7.0
	女性50代(n=100)	58.0	39.0	21.0	26.0	16.0	16.0	18.0	11.0	9.0	11.0	9.0	3.0	3.0	0.0	19.0	11.0
	女性60代(n=100)	73.0	55.0	25.0	38.0	26.0	20.0	21.0	15.0	21.0	12.0	10.0	10.0	3.0	0.0	13.0	2.0

【全体結果】「食料品や飲料水を準備している」が51%で最も高く、「携帯ラジオ・懐中電灯を準備している」(28%)、「携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を準備している」(22%)、「トイレが使えない場合に備え、簡易トイレ・携帯トイレを準備している」(21%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「食料品や飲料水を準備している」、「携帯ラジオ・懐中電灯を準備している」、「トイレが使えない場合に備え、簡易トイレ・携帯トイレを準備している」は、女性が男性よりも7ポイント以上高かった。
- ◎年代別で見ると、「食料品や飲料水を準備している」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で69%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「携帯ラジオ・懐中電灯を準備している」は、女性60代(55%)のみ5割を超えた。

Q 1 8. 地震の備えとして行っている対策(複数回答)

地震発生時には、家具の転倒などにより思わぬケガをしたり、避難経路がふさがれたりすることがあります。あなたの家庭では、家具・家電について、以下のような対策を行っていますか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		あてはまるものはない	水槽やウォーターサーバーなどの水を貯めるものは、台とその上に乗っている物を固定し、さらに台と壁も固定している	吊り下げ式の照明は、ワイヤーによる固定で、揺れを防いでいる	食器棚などガラス部分がある家具には、飛散防止フィルムを貼っている	キャスター付きの家具が動かないよう、下皿の設置やキャスターをロックしている	収納物が散乱しないよう、家具に扉の開放を防ぐ器具を設置している	テレビや電子レンジなどの家電を固定している	物が落下しないよう、家具の上に物を置いていない	家具の重心が安定するよう、収納物は重いものを下に置き、転倒しにくくしている	タンスや棚などの家具を固定している
全体(n=1000)		51.6	1.9	2.3	4.9	5.6	6.7	10.6	12.7	14.8	25.8
性別	男性(n=500)	49.4	1.8	2.8	5.0	6.0	6.4	10.4	12.6	13.2	27.0
	女性(n=500)	53.8	2.0	1.8	4.8	5.2	7.0	10.8	12.8	16.4	24.6
年代別	18-29歳(n=200)	54.5	3.0	5.5	5.5	4.0	5.5	11.0	11.0	10.5	23.0
	30代 (n=200)	58.0	2.0	2.5	4.0	5.0	5.5	6.5	8.0	13.5	19.5
	40代 (n=200)	56.0	1.5	2.0	5.0	6.5	9.0	12.5	14.5	16.0	22.5
	50代 (n=200)	48.0	2.5	1.0	3.0	7.0	4.0	9.0	10.0	17.0	26.0
	60代 (n=200)	41.5	0.5	0.5	7.0	5.5	9.5	14.0	20.0	17.0	38.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	48.0	2.0	5.0	6.0	5.0	7.0	12.0	11.0	9.0	27.0
	男性30代 (n=100)	57.0	2.0	2.0	5.0	6.0	7.0	8.0	11.0	16.0	19.0
	男性40代 (n=100)	62.0	1.0	4.0	7.0	7.0	7.0	7.0	13.0	9.0	22.0
	男性50代 (n=100)	42.0	3.0	2.0	2.0	8.0	3.0	12.0	11.0	17.0	27.0
	男性60代 (n=100)	38.0	1.0	1.0	5.0	4.0	8.0	13.0	17.0	15.0	40.0
	女性18-29歳(n=100)	61.0	4.0	6.0	5.0	3.0	4.0	10.0	11.0	12.0	19.0
	女性30代 (n=100)	59.0	2.0	3.0	3.0	4.0	4.0	5.0	5.0	11.0	20.0
	女性40代 (n=100)	50.0	2.0	0.0	3.0	6.0	11.0	18.0	16.0	23.0	23.0
	女性50代 (n=100)	54.0	2.0	0.0	4.0	6.0	5.0	6.0	9.0	17.0	25.0
女性60代 (n=100)	45.0	0.0	0.0	9.0	7.0	11.0	15.0	23.0	19.0	36.0	

【全体結果】「タンスや棚などの家具を固定している」が26%で最も高く、「家具の重心が安定するよう、収納物は重いものを下に置き、転倒しにくくしている」(15%)、「物が落下しないよう、家具の上に物を置いていない」(13%)が続いた。

◎年代別で見ると、「タンスや棚などの家具を固定している」は、60代(38%)のみ3割を超えた。

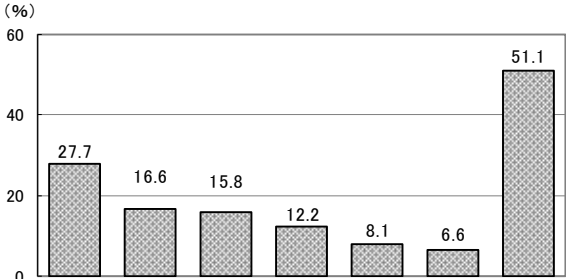
◎性・年代別で見ると、「家具の重心が安定するよう、収納物は重いものを下に置き、転倒しにくくしている」は、女性40代(23%)のみ2割を超えた。

Q19. 地震の備えとして行っている工夫(複数回答)

家での地震への備えとして、居住スペースと収納スペースを分けたり、家具の配置を工夫したりすることで、家の中に安全なスペースを確保することが有効です。

あなたの家庭では、以下のような工夫を行っていますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		寝るところやふだん座る場所にしている	家具の転倒や移動により、部屋の出入り口や避難通路をふさがないようにしている	造り付けの家具やクローゼットを活用し、室内に背の高い家具を配置しないようにしている	家具の重量や転倒しにくい・落下しにくい・移動しにくい・窓際に配置しないようにしている	地震発生時にケガをしないように、家の袋や底の厚い履物を用いて、厚手の散乱し	家の外に避難する際に、屋内に	あてはまるものはない
全体(n=1000)		27.7	16.6	15.8	12.2	8.1	6.6	51.1
性別	男性(n=500)	23.0	15.8	15.8	12.6	6.8	5.8	53.2
	女性(n=500)	32.4	17.4	15.8	11.8	9.4	7.4	49.0
年代別	18-29歳(n=200)	25.5	14.0	14.0	9.5	7.5	4.0	57.0
	30代 (n=200)	23.0	15.0	13.5	8.0	7.0	9.5	54.5
	40代 (n=200)	25.0	16.0	20.0	14.0	7.5	4.5	54.0
	50代 (n=200)	28.0	15.0	14.5	14.0	7.5	6.0	50.0
	60代 (n=200)	37.0	23.0	17.0	15.5	11.0	9.0	40.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	23.0	13.0	18.0	12.0	6.0	3.0	56.0
	男性30代 (n=100)	18.0	20.0	15.0	11.0	7.0	8.0	55.0
	男性40代 (n=100)	18.0	13.0	15.0	11.0	6.0	4.0	59.0
	男性50代 (n=100)	28.0	13.0	14.0	16.0	8.0	6.0	49.0
	男性60代 (n=100)	28.0	20.0	17.0	13.0	7.0	8.0	47.0
	女性18-29歳(n=100)	28.0	15.0	10.0	7.0	9.0	5.0	58.0
	女性30代 (n=100)	28.0	10.0	12.0	5.0	7.0	11.0	54.0
	女性40代 (n=100)	32.0	19.0	25.0	17.0	9.0	5.0	49.0
	女性50代 (n=100)	28.0	17.0	15.0	12.0	7.0	6.0	51.0
	女性60代 (n=100)	46.0	26.0	17.0	18.0	15.0	10.0	33.0

【全体結果】「寝るところやふだん座る場所には、家具の転倒でケガをしないようにしている」が28%で最も高く、「家具の転倒や移動により、部屋の出入り口や避難通路をふさがないようにしている」(17%)、「造り付けの家具やクローゼットを活用し、室内に背の高い家具を配置しないようにしている」(16%)が続いた。

◎性別で見ると、「寝るところやふだん座る場所には、家具の転倒でケガをしないようにしている」は、女性(32%)が男性(23%)よりも9ポイント高かった。

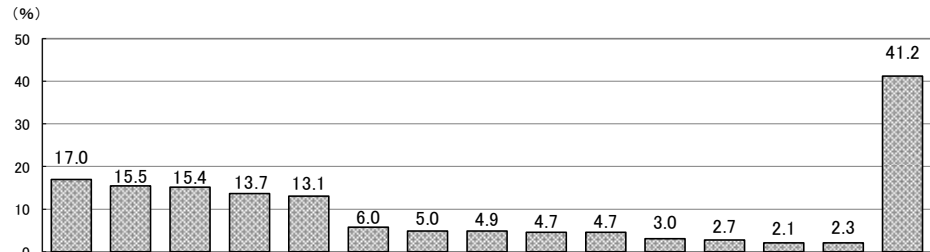
◎性・年代別で見ると、「寝るところやふだん座る場所には、家具の転倒でケガをしないようにしている」は、女性60代(46%)のみ4割を超えた。

Q20. 地震の備えとして対策を行う上で、妨げとなるもの(複数回答)

地震発生時に、家の中でケガをしたり、避難経路をふさがれたりしないための対策は、家具の転倒防止、家具の固定、家具の設置場所の変更などさまざまです。

あなたが、これらの対策を行う上で妨げとなるもの、または、対策を行っていない理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		転倒防止器具の購入にお金がかかる	家具や壁に傷がつく	転倒防止器具の取り付けに手間がかかる	家具の設置場所を変更するのが難しい	面倒だから	転倒防止器具の取り付けが、自分にはできないと思う	家具の転倒防止の方法がわからない	対策しても家具の転倒を防止できないと思う	転倒防止器具の取り付けがわからない	家具が転倒してもどうにかなんとかなると思う	対策しなくても家具は転倒しないと思う	知らなかった	家族の誰かがやると思っている	その他	特に理由はない/なんとなく
全体(n=1000)		17.0	15.5	15.4	13.7	13.1	6.0	5.0	4.9	4.7	4.7	3.0	2.7	2.1	2.3	41.2
性別	男性(n=500)	15.4	15.6	14.8	13.2	12.6	3.6	6.0	4.4	4.6	4.6	4.0	4.2	1.6	1.4	45.2
	女性(n=500)	18.6	15.4	16.0	14.2	13.6	8.4	4.0	5.4	4.8	4.8	2.0	1.2	2.6	3.2	37.2
年代別	18-29歳(n=200)	14.5	15.0	17.5	7.5	14.0	6.5	7.5	5.0	5.5	4.0	0.0	5.0	3.0	1.0	45.5
	30代 (n=200)	19.0	19.0	15.5	11.5	12.5	6.0	7.5	4.5	5.5	4.5	4.5	2.5	2.5	2.0	38.5
	40代 (n=200)	16.0	15.5	13.5	12.5	13.0	3.5	4.5	6.5	4.5	4.5	4.0	3.0	3.0	1.5	42.5
	50代 (n=200)	19.5	20.5	13.5	19.0	11.5	8.0	2.5	3.0	4.0	7.5	3.5	2.0	0.0	2.5	38.5
	60代 (n=200)	16.0	7.5	17.0	18.0	14.5	6.0	3.0	5.5	4.0	3.0	3.0	1.0	2.0	4.5	41.0
	70代 (n=200)	17.0	10.0	15.0	15.0	13.0	10.0	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.0	2.0	38.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	13.0	14.0	20.0	9.0	15.0	6.0	9.0	4.0	5.0	3.0	0.0	9.0	3.0	0.0	48.0
	男性30代 (n=100)	17.0	20.0	13.0	10.0	12.0	4.0	10.0	5.0	9.0	5.0	4.0	4.0	0.0	2.0	38.0
	男性40代 (n=100)	15.0	14.0	12.0	10.0	10.0	1.0	4.0	6.0	3.0	3.0	5.0	3.0	1.0	1.0	55.0
	男性50代 (n=100)	17.0	23.0	10.0	17.0	10.0	5.0	3.0	4.0	4.0	7.0	5.0	3.0	0.0	2.0	43.0
	男性60代 (n=100)	15.0	7.0	19.0	20.0	16.0	2.0	4.0	3.0	2.0	5.0	6.0	2.0	2.0	2.0	42.0
	女性18-29歳(n=100)	16.0	16.0	15.0	6.0	13.0	7.0	6.0	6.0	6.0	5.0	0.0	1.0	3.0	2.0	43.0
	女性30代 (n=100)	21.0	18.0	18.0	13.0	13.0	8.0	5.0	4.0	2.0	4.0	5.0	1.0	3.0	2.0	39.0
	女性40代 (n=100)	17.0	17.0	15.0	15.0	16.0	6.0	5.0	7.0	6.0	6.0	3.0	3.0	5.0	2.0	30.0
	女性50代 (n=100)	22.0	18.0	17.0	21.0	13.0	11.0	2.0	2.0	4.0	8.0	2.0	1.0	0.0	3.0	34.0
	女性60代 (n=100)	17.0	8.0	15.0	16.0	13.0	10.0	2.0	8.0	6.0	1.0	0.0	0.0	2.0	7.0	40.0

【全体結果】「転倒防止器具の購入にお金がかかる」が17%で最も高く、「家具や壁に傷がつく」(16%)、「転倒防止器具の取り付けに手間がかかる」(15%)が続いた。

◎年代別で見ると、「家具や壁に傷がつく」は、50代(21%)のみ2割を超えた。

◎性・年代別で見ると、「家具の設置場所を変更するのが難しい」は、男性では、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で20%となった。

3 調査票（アンケート画面）

SC1
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ☐ 1. さいたま市西区 | ☐ 6. さいたま市桜区 |
| ☐ 2. さいたま市北区 | ☐ 7. さいたま市浦和区 |
| ☐ 3. さいたま市大宮区 | ☐ 8. さいたま市南区 |
| ☐ 4. さいたま市見沼区 | ☐ 9. さいたま市緑区 |
| ☐ 5. さいたま市中央区 | ☐ 10. さいたま市岩槻区 |
| | ☐ 11. その他（具体的に） <input type="text"/> |

SC2
必須

あなたの性別と年齢をお答えください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 1. 男性 18歳未満 | ☐ 9. 女性 18歳未満 |
| ☐ 2. 男性 18～29歳 | ☐ 10. 女性 18～29歳 |
| ☐ 3. 男性 30～39歳 | ☐ 11. 女性 30～39歳 |
| ☐ 4. 男性 40～49歳 | ☐ 12. 女性 40～49歳 |
| ☐ 5. 男性 50～59歳 | ☐ 13. 女性 50～59歳 |
| ☐ 6. 男性 60～69歳 | ☐ 14. 女性 60～69歳 |
| ☐ 7. 男性 70～79歳 | ☐ 15. 女性 70～79歳 |
| ☐ 8. 男性 80歳以上 | ☐ 16. 女性 80歳以上 |

「SNS」について、質問します。

Q1 あなたが、さいたま市の情報を得るために使用するSNS等は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものすべてを選んでください。

- ☐ 1. LINE
- ☐ 2. X (旧Twitter)
- ☐ 3. Instagram
- ☐ 4. YouTube
- ☐ 5. Facebook
- ☐ 6. さいたま市みんなのアプリ
- ☐ 7. その他（具体的に）
- ☐ 8. さいたま市の情報を得るためにSNSは利用していない
- ☐ 9. さいたま市の情報を得ていない

Q2 あなたは、SNS等のさいたま市公式アカウントを利用して、あなたが求めている情報が手に入り
必須 ましたか。以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 手に入った
- ☐ 2. だいたい手に入った
- ☐ 3. あまり手に入らなかった
- ☐ 4. まったく手に入らなかった
- ☐ 5. 覚えていない／わからない

Q3 あなたが、市のSNSに改善して欲しいことがらは何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものすべてを選んでください。

- ☐ 1. タイトルを見やすくする
- ☐ 2. 文章を短く簡潔にする
- ☐ 3. 画像を活用する
- ☐ 4. 動画を活用する
- ☐ 5. 最新の情報がすぐに分かるようにする
- ☐ 6. 自分に合う情報だけを取得できるようにする
- ☐ 7. その他（具体的に）
- ☐ 8. 特になし／わからない

「市議会の広報」について、質問します。

Q4 さいたま市議会では、広報紙「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を年4回発行し、市内の全世帯に配布しています。
必須 あなたは、ふだん、「市議会だよりさいたま（ロクマル）」をどれくらい読んでいますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※詳しくは以下のサイトをご覧ください。

■ [さいたま市ホームページ「市議会だよりさいたま（ロクマル）」](#)

- ☐ 1. だいたい全部の記事を読んでいる
- ☐ 2. 興味のあるところだけ読んでいる
- ☐ 3. あまり読んでいない
- ☐ 4. まったく読んでいない
- ☐ 5. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を知らない

Q5
必須

あなたが、「市議会だよりさいたま（ロクマル）」を読んでいない理由は何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 市議会の情報は、市のホームページなど別の手段で入手しているから
- ☐ 2. 知りたい情報が書かれていないから
- ☐ 3. 自分に関係のある情報が書かれていないから
- ☐ 4. すでに知っている情報しか書かれていないから
- ☐ 5. 書かれている情報が最新のものでないから
- ☐ 6. どこに何が書かれているかがわかりにくいから
- ☐ 7. 書かれている内容が難しい、または理解できない用語があるから
- ☐ 8. 文章が長すぎて、読む気をなくすから
- ☐ 9. 文字が小さく見づらいから
- ☐ 10. 内容が面白くないから
- ☐ 11. 市議会に興味がないから
- ☐ 12. 「市議会だよりさいたま（ロクマル）」に何が書かれているかを知らないから
- ☐ 13. その他（具体的に）
- ☐ 14. 特に理由はない／なんとなく

Q6
必須

「市議会だよりさいたま（ロクマル）」で、あなたが、特に見たい、または充実させてほしいと思う情報は何か。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 市議会に提出された議案と議決結果
- ☐ 2. 議案に対する各議員の賛成・反対の表明
- ☐ 3. 議員と市の間で行われた質疑内容
- ☐ 4. 市議会で行われた議論の市政への反映状況
- ☐ 5. 市議会の各委員会の活動状況
- ☐ 6. 市議会の仕組み
- ☐ 7. 市議会の傍聴案内
- ☐ 8. 請願や陳情の提出方法
- ☐ 9. 市議会議員のプロフィール
- ☐ 10. 市議会議員の報酬額
- ☐ 11. 政務活動費の交付額と使途
- ☐ 12. 市議会改革の取組内容
- ☐ 13. 若者向けの企画
- ☐ 14. その他（具体的に）
- ☐ 15. 特にない／わからない

Q7
必須

さいたま市議会では、テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をテレビ埼玉で年4回放送しています。
また、インターネット（市議会のホームページやYouTube）での録画配信も行っています。
あなたは、「ようこそさいたま市議会へ」を見たことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

※詳しくは以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「ようこそさいたま市議会へ」

- ☐ 1. テレビの放送とインターネットの録画配信のどちらも見たことがある
- ☐ 2. テレビの放送だけ見たことがある
- ☐ 3. インターネットの録画配信だけ見たことがある
- ☐ 4. 見たことはないが、番組があることは知っていた
- ☐ 5. 番組を知らない

Q8
必須

テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」で、あなたが、特に見たい、または充実させてほしいと思うものは何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 定例会のダイジェスト（提出された主な議案、議決結果など）
- ☐ 2. 委員会（分野ごとに議案などを詳しく審査する場）の様子
- ☐ 3. 議員へのインタビュー
- ☐ 4. 議員同士の対談
- ☐ 5. 議員と著名人の対談
- ☐ 6. 市民が登場する企画
- ☐ 7. 議会の仕組みなどの解説
- ☐ 8. その他（具体的に）
- ☐ 9. 特にない／わからない

「区役所における窓口サービス」について、質問します。

Q9
必須

あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口をどのような用件で利用しましたか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 各種証明書の取得（住民票の写し、戸籍謄本、印鑑登録証明書、税証明書など）
- ☐ 2. 引越に伴う届出（転入届、転居届など）
- ☐ 3. 印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き
- ☐ 4. 戸籍の届出（出生届、婚姻届、死亡届など）
- ☐ 5. 税の申告、納付、相談など
- ☐ 6. 情報公開コーナーの利用
- ☐ 7. 上下水道の開始や中止の手続き、料金の支払いなど
- ☐ 8. 生活保護の申請・相談
- ☐ 9. 児童福祉に関する手続き（保育園、児童手当など）
- ☐ 10. 障害者福祉に関する手続き（障害者手帳、各種手当など）
- ☐ 11. 高齢者福祉に関する手続き（介護保険、高齢者福祉サービスなど）
- ☐ 12. 国民健康保険に関する手続き（加入・脱退、高額療養費など）
- ☐ 13. 後期高齢者医療・福祉医療に関する手続き（子育て支援医療、ひとり親家庭等医療、心身障害者医療など）
- ☐ 14. 国民年金に関する手続き
- ☐ 15. 母子保健に関すること（乳幼児の健診、育児の相談など）
- ☐ 16. その他（具体的に）
- ☐ 17. 覚えていない／利用していない

Q10 あなたは、平日の8:30～17:15のどの時間帯に区役所を利用することが最も多いですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

平日（月～金）

- ☐ 1. 8:30～9:00
- ☐ 2. 9:00～12:00
- ☐ 3. 12:00～13:00
- ☐ 4. 13:00～16:00
- ☐ 5. 16:00～16:30
- ☐ 6. 16:30～17:15
- ☐ 7. 覚えていない/利用していない

Q11 あなたは、平日の8:30～17:15以外の時間帯に区役所や支所・市民の窓口を利用したいと思いませんか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. いいえ

Q12 あなたは、平日の8:30～17:15以外の、どの時間帯に区役所が開いていると便利だと思いますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 平日8:30よりも前
- ☐ 2. 平日17:15よりも後
- ☐ 3. 休日8:30～12:00
- ☐ 4. 休日13:00～17:15

現在、さいたま市では、休日でも区役所での各種手続きができるように、「休日窓口」を開設しています。開設場所、開設日、開設時間は以下のとおりです。

開設場所・・・全10区役所

開設日・・・原則毎月最終日曜日と3月の最終土曜日（全13回／年）

開設時間・・・各回とも8：30～17：15

主な取扱業務・・・住民異動届、戸籍の届出（出生届、婚姻届など）、
印鑑登録、マイナンバーカードに関する手続き、
住民票の写し、戸籍謄本、印鑑登録証明書、税証明書などの交付、
児童手当の届出、国民健康保険や国民年金の加入・脱退手続きなど

参考：令和6年度実績（年間13回開設、全10区役所合計）

取扱件数：49,047件

開設コスト：約4,200万円

Q13 あなたは、「休日窓口」を利用したことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 「休日窓口」を利用したことがある
- ☐ 2. 「休日窓口」を開設していることは知っていたが、利用したことはない
- ☐ 3. 「休日窓口」を知らなかった

「さいたまキッズなCity大会宣言」について、質問します。

Q14 **必須** あなたは、お子さんがいますか。同居、別居を問わず、すべてのお子さんについて、お答えください。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 0歳～6歳（小学校就学前）の子がいる
- ☐ 2. 小学生の子がいる
- ☐ 3. 中学生の子がいる
- ☐ 4. 中学校卒業～18歳の子がいる
- ☐ 5. 19歳以上の子がいる
- ☐ 6. 子どもはいない

さいたま市では、平成23年10月に「さいたまキッズなCity大会宣言」を制定しました。

『さいたまキッズなCity大会宣言』

さいたま市の 未来を担う子ども・青少年が 夢と希望を持ち 生き生きと輝きながら成長することは 市民すべての願いです

この願いを実現するためには 人々が互いに助け合い いたわりあい 支えあいながら子ども・青少年を 社会全体で育むことが大切です

わたしたちは すべての子ども・青少年が その個性を尊重され 健やかに育ち 自立し社会で輝いて生きられるよう 子ども・青少年の幸せと命の尊さを第一に考える地域社会の実現を目指します

- ・未来のさいたま市をつくります
- ・家族の絆を深めます
- ・市民の絆で子ども・青少年を育みます
- ・働きやすい環境をつくり、子育て支援に貢献します
- ・地域社会を支えます

平成23年10月9日 さいたまキッズなCity

Q15 **必須** あなたは、さいたま市が、この宣言にあるように、家庭や地域、事業者、行政など社会全体で子どもの成長を支えあっている市だと思いますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. どちらかといえばそう思う
- ☐ 3. どちらかといえばそう思わない
- ☐ 4. そう思わない
- ☐ 5. わからない

Q16
必須

さいたま市が、「さいたまキッズなCity大会宣言」や子どもの権利などをより普及・啓発していくために、どこに情報をのせれば、あなたの目に留まりやすいですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 区役所や支所
- ☐ 2. 図書館・公民館・児童センター・子育て支援センター
- ☐ 3. 市ホームページ・SNS（Facebook、X（旧Twitter）など）
- ☐ 4. 民間の商業施設
- ☐ 5. 駅構内・街頭ビジョン
- ☐ 6. テレビ・ラジオにおけるさいたま市広報番組
- ☐ 7. 「市報さいたま」
- ☐ 8. 市が発行する「子育て応援ブック」
- ☐ 9. 新聞・タウン誌（紙）・地元の情報誌（紙）
- ☐ 10. 自治会の回覧板
- ☐ 11. 転入手続きの際にもらう市の案内
- ☐ 12. 保育園・幼稚園・学校での掲示や配布
- ☐ 13. さいたま市のお祭り
- ☐ 14. フォーラムやシンポジウムなどの啓発イベント
- ☐ 15. その他（具体的に）
- ☐ 16. 特にない／わからない

「家庭での災害時の備え」について、質問します。

Q17 あなたの家庭で災害に対して日ごろから行っている備えはありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 食料品や飲料水を準備している
- ☐ 2. 家族の状況に応じた必要な生活用品を準備している（常備薬、おむつ、生理用品、下着、眼鏡、入歯洗浄剤など）
- ☐ 3. 非常時に必要なものを持ち出せるようにしている（食料、水、貴重品、衣類、毛布など）
- ☐ 4. 携帯ラジオ・懐中電灯を準備している
- ☐ 5. 携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を準備している
- ☐ 6. 停電時に自動で点灯する足元灯を設置している
- ☐ 7. 地震発生時にケガをしたり、避難経路がふさがれたりしないよう、家具の転倒防止対策や設置場所の工夫をしている
- ☐ 8. 地震火災に備え、感震ブレーカーを設置している
- ☐ 9. 断水に備え、風呂の残り湯を貯めている
- ☐ 10. トイレが使えない場合に備え、簡易トイレ・携帯トイレを準備している
- ☐ 11. 家の中や家の周囲で災害時に危険になりそうな場所を調べている
- ☐ 12. 地震や風水害など、災害の種類に応じて避難する場所を決めている
- ☐ 13. 家族と離ればなれになった時の連絡方法を決めている
- ☐ 14. その他（具体的に）
- ☐ 15. 特に何もしていない
- ☐ 16. わからない

Q18 必須 地震発生時には、家具の転倒などにより思わぬケガをしたり、避難経路がふさがれたりすることがあります。
あなたの家庭では、家具・家電について、以下のような対策を行っていますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. タンスや棚などの家具を固定している
- ☐ 2. 家具の重心が安定するよう、収納物は重いものを下に置き、転倒しにくくしている
- ☐ 3. 物が落下しないよう、家具の上に物を置いていない
- ☐ 4. テレビや電子レンジなどの家電を固定している
- ☐ 5. 収納物が散乱しないよう、家具に扉の開放を防ぐ器具を設置している
- ☐ 6. 食器棚などガラス部分がある家具には、飛散防止フィルムを貼っている
- ☐ 7. キャスター付きの家具が動かないよう、下皿の設置やキャスターをロックしている
- ☐ 8. 吊り下げ式の照明は、ワイヤーによる固定で、揺れを防いでいる
- ☐ 9. 水槽やウォーターサーバーなどの水を貯めるものは、台とその上に乗っている物を固定し、さらに台と壁も固定している
- ☐ 10. あてはまるものはない

Q19 必須 家での地震への備えとして、居住スペースと収納スペースを分けたり、家具の配置を工夫したりすることで、家の中に安全なスペースを確保することが有効です。
あなたの家庭では、以下のような工夫を行っていますか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 造り付けの家具やクローゼットを活用し、室内に背の高い家具を配置しないようにしている
- ☐ 2. 家具の転倒や移動により、部屋の出入り口や避難通路をふさがらないような配置にしている。
- ☐ 3. 寝るところやふだん座る場所には、家具の転倒でケガをしないようにしている（家具を配置しない、背の低い家具を配置、配置の方向を工夫など）
- ☐ 4. 家具が屋外に落下しないよう、窓際には重畳物や転倒・落下・移動しやすい家具を配置していない
- ☐ 5. 地震発生時にケガをしないよう、家の中に安全なスペースを確保している
- ☐ 6. 家の外に避難する際に、屋内に散乱した物でのケガを避けるため、厚手の手袋や底の厚い履物を用意している
- ☐ 7. あてはまるものはない

Q20
必須

地震発生時に、家の中でケガをしたり、避難経路をふさがれたりしないための対策は、家具の転倒防止、家具の固定、家具の設置場所の変更などさまざまです。
あなたが、これらの対策を行う上で妨げとなるもの、または、対策を行っていない理由は何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 家具の転倒防止の方法がわからない
- ☐ 2. 転倒防止器具の取り付けに手間がかかる
- ☐ 3. 転倒防止器具の取り付けかたがわからない
- ☐ 4. 転倒防止器具の取り付けが、自分にはできないと思う
- ☐ 5. 家具の転倒防止の対策が必要なことを知らなかった
- ☐ 6. 転倒防止器具の購入にお金がかかる
- ☐ 7. 家具の設置場所を変更するのが難しい
- ☐ 8. 家具や壁に傷がつく
- ☐ 9. 対策しても家具の転倒を防止できないと思う
- ☐ 10. 家具が転倒してもどうにかなると思う
- ☐ 11. 対策しなくても家具は転倒しないと思う
- ☐ 12. 家族の誰かがやと思っている
- ☐ 13. 面倒だから
- ☐ 14. その他（具体的に）
- ☐ 15. 特に理由はない/なんとなく

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は 202 万円です。